

## 第3章 緑被率調査

### 1. 調査方法

#### 1-1 航空写真撮影

##### (1) デジタルセンサシステム諸元および撮影諸元

緑被判読のための航空写真撮影は、GNSS/IMU 装置<sup>※1</sup>を搭載したデジタルセンサ計測機器を用いて、平成29年6月10日に行った。樹木の倒れ込みを極力少なくするために、撮影重複度はオーバーラップ（航空機進行方向の重複度）、サイドラップ（航空機のコース間の重複度）ともに60%とし、可視域と近赤外域のデジタル画像データを同時に取得した。

デジタルセンサシステムおよび撮影諸元について表3-1に示す。

表3-1 デジタルセンサシステムおよび撮影諸元

項目	摘要
撮影範囲	杉並区全域 3,406ha (34.06 k m <sup>2</sup> )
撮影時期	平成29年6月10日午前9時30分～11時30分（晴れ）
撮影縮尺	1/10,000
撮影コース	南北12コース
撮影重複度	オーバーラップ(60%)、サイドラップ(60%)
デジタル計測機器	Ultra Cam Eagle (UCE)
取得画像データ	RGB(カラー)/NIR(近赤外線)を同時取得
地上解像度	約10cm
地上検証点設置	5点

##### (2) 画像データ加工

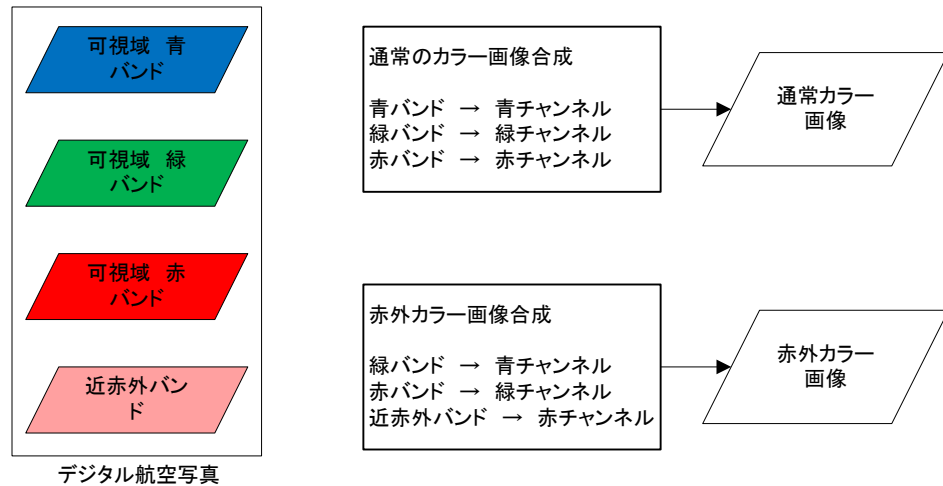
取得画像データより、カラーデジタルオルソデータ<sup>※2</sup>及び赤外カラーデジタルオルソデータ<sup>※3</sup>を作成した。デジタルオルソの精度は、数値情報レベル1000相当(国土交通省国土地理院デジタルオルソ作成の公共測量作業マニュアルに準拠)とした。

※1 **GNSS/IMU装置**: GNSSは米国の衛星群GPSをはじめとする衛星測位システムで、IMUは機器の傾き等を知るための計測装置である。これらを組み合わせることにより、航空機の位置と姿勢を高精度に知ることができる。

※2 **カラーデジタルオルソデータ**: 航空写真は1度のシャッターで地表を平面的に撮影するため、中心から画像の外側に向かって地物が倒れて撮影される(中心投影)。これを、全ての地点で地形を真上から見下ろしたように変換した画像をオルソ(正射投影)データ

(画像)という。カラーデジタルオルソデータは、デジタルカラー画像を正射投影したものである。ただし、正射変換されるのは地形(地面)であり、建物や樹木等は倒れ込んだままとなる。

※3 **赤外カラーデジタルオルソデータ**: 赤外カラーデータは、近赤外、可視域赤、可視域緑の波長帯で撮影した画像を、それぞれ赤、緑、青のチャンネルに合成したもので、植生調査によく用いられる。赤外カラーデジタルオルソデータは、赤外カラーデータを正射変換(オルソ変換)したものである。



## 1-2 緑被率調査

### (1) 緑被地の抽出および区分

緑被地の抽出規模は、「東京都緑被率標準調査マニュアル」における水準Ⅰに基づき、1 m<sup>2</sup>程度とし、調査方法は以下の手順で行った。

#### 1) 緑被地の自動抽出

本調査で撮影したデジタル航空写真は、CCD(電荷結合素子、Charge Coupled Device)を用いてレンズを通した画像を直接デジタル画像として取得する。その際、地表面から反射される光を波長帯ごとに分割してデータの取得を行っている。本調査で使用したデジタル航空カメラは、人間の目に見える波長帯(可視域)を青、緑、赤の3つに区分し、さらに可視域より少し波長の長い近赤外域の波長帯を加えた4バンド(4つの波長帯)でデータを取得するものである。

植生は、可視域では緑の波長帯での反射が強く、赤の波長帯では弱い反射を示す。人間の目に見えない近赤外の波長帯においては、可視域緑よりはるかに強い反射を示すことから、近赤外は植生の有無を抽出する解析には非常に有効な情報である。

本調査の緑被地の抽出には、植生の持つ上記の性質を利用して、「植生指標」と呼ばれる計算値を用いた。植生指標は、植生が非常に強く反射する近赤外域の画像と、反射が弱い可視域赤の画像を用いて画素を単位とした比演算を行うことにより求めることができる。得られた値によって、植生か否かを判断することにより、植生の分布域を自動的に抽出することができる。

#### 2) ノイズ除去

自動抽出した緑被地には、植生と同様の反射特性を示す人工構造物等がノイズとして含まれている。これらはカラーデジタルオルソデータとの比較を目視で行い除去した。

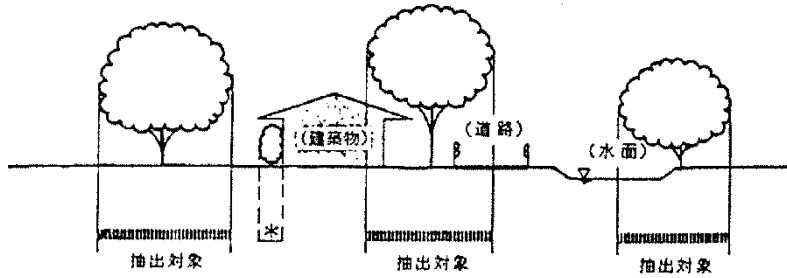
#### 3) 緑被地区分とそれ以外の項目の目視判読

前項までに得られた緑被地データを基に、目視判読により表 3-2 の項目に区分した。また、区分の定義は図 3-1 の通りである。なお、農地は空中写真判読から農地と認められたものを農地としているため、農地調査等の関係資料の面積とは一致しない。

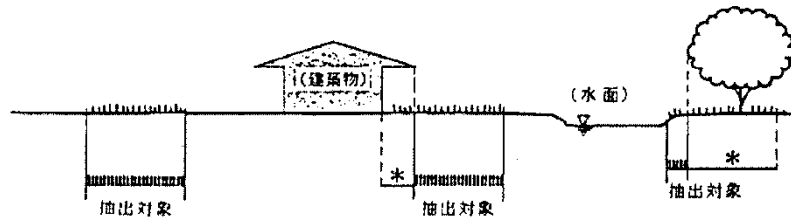
表 3-2 緑被地等の区分

区 分		内 容
緑 被 地	樹木被覆地	樹木・樹林に覆われた土地
	草 地	芝地を含む草地（樹木・樹林に覆われた部分を除く）
	農 地	畑地（樹木畑・果樹園を含む）、休耕地（樹木・樹林に覆われた部分を除く）
	屋上緑化	構造物上に植栽された樹木被覆地、草地等で面的に広がりをもつもの
裸 地		グラウンド、駐車場等の人工被覆以外の土地（工事中の裸地も含む）
水 面		湖沼、河川等の水面（プール等は除く）

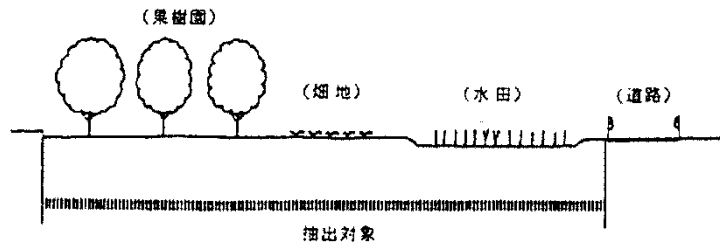
① 樹木、樹林に覆われた部分



② 草地



③ 農地



\*: 抽出の対象とならない緑被地

(出典：緑被率標準調査マニュアル 昭和 63 年 東京都)

図 3-1 緑被地等の区分



## (2) 緑被率の集計

緑被率は、ある区域に占める緑被地の割合のことで以下に示すとおりである。

$$\text{緑被率 (\%)} = \frac{\text{樹木被覆地面積} + \text{草地面積} + \text{農地面積} + \text{屋上緑化面積}}{\text{対象区域の面積}} \times 100$$

### 1-3 調査方法の経緯

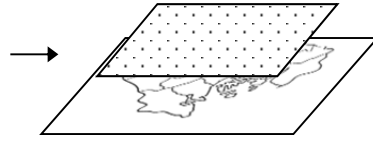
前回調査と同様にデジタル航空カメラを使用して写真撮影を行った。そのため直接デジタルデータを用いて、オルソデータの作成から緑被地の抽出までを自動で行っているため、建物の影と重なる緑被地、小規模な緑被地についても抽出が容易となった。

緑被率調査方法の推移について表 3-3、図 3-2 に示す。

表 3-3 緑被率調査の経過一覧

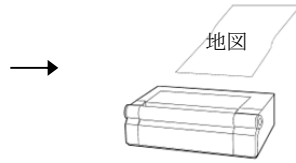
調査年度	写真縮尺	計測の手段	計測の方法	備 考
昭和 47 年度	1/10,000	都市構造区分	点格子板による。	航空写真から都市構造区分(街区等を基本単位)を一単位として、植生被覆地の割合を計測した。
昭和 52 年度から 平成 4 年度	1/5,000	都市構造区分	点格子板による。(前回調査から変化分を差し引いた。)	基本的な計測方法は昭和 47 年度と同じであるが変化分のみを前回調査分から差し引いて算出した。
平成 9 年度	1/5,000	アナログ写真判読	ドラムスキャナー	「緑被率調査標準マニュアル(東京都環境保全局)」による調査方法で、航空写真を縮尺 1/2,500 に拡大し、マイラーに移写した緑被地をドラムスキャナーで計測した。
平成 14 年度	1/10,000	アナログ写真判読	コンピュータ処理	「緑被率調査標準マニュアル」に基づいて調査した。航空写真のゆがみ修正画像(オルソ画像)をパソコンに取り込み座標計算によって緑被面積を計測した。(地上での大きさ 0.1m 程度まで計測が可能)
平成 19 年度	1/10,000	デジタル写真判読	デジタル処理	「緑被率調査標準マニュアル」に基づいて調査した。デジタル航空写真のデジタルオルソデータから緑被地を自動抽出し、目視によるノイズ除去および緑被地区分を行い、面積計測は座標計算から計測した。(地上解像度 10cm)
平成 24 年度 平成 29 年度	1/10,000	デジタル写真判読	デジタル処理	「緑被率調査標準マニュアル」に基づいて調査した。デジタル航空写真のデジタルオルソデータから緑被地を自動抽出し、目視によるノイズ除去および緑被地区分を行った。なお、緑被地区分は前回の調査から変化した箇所を対象とした。面積計測は座標計算から計測した。(地上解像度 10cm)

### 昭和 47 年度～平成 4 年度（点格子板による方法）



写真判読により調査図を作成し、調査図の上に点格子板（透明なプラスチック板に、たて・よこ均等に黒い点が網目状に表示されたもの）をあて、集計しようとする区域内に占めるドットを数え、面積を集計する。

### 平成 9 年度



写真判読により調査図を作成し、調査図をドラムスキャナーにて読み込み、面積をパソコン上で集計する。

ドラムスキャナー

### 平成 14 年度



地図や航空写真をパソコン内に取り込み、モニター上で計測し、調査結果を直接、面積や数値としてパソコン上で集計する。

### 平成 19 年度以降



デジタルオルソデータから緑被地の自動抽出を行い、面積計測等一連の作業をパソコン上で行う。

図 3-2 緑被率調査の経過参考図

## 2. 緑被の現況

区全体の緑被地等の現況を図 3-3、表 3-4 に示す。

緑被地は 741.54ha で、緑被率は 21.77% であった。緑被地のうち、樹木被覆地が 618.21ha (18.15%)、草地在 80.55ha (2.37%)、農地が 35.12ha (1.03%)、屋上緑化が 7.66ha (0.23%) であった。

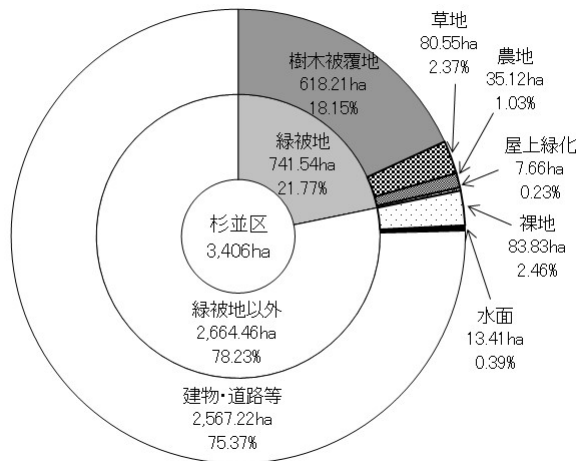


図 3-3 区全体の緑被地等の構成比

表 3-4 区全体の緑被地等の現況

緑被地等区分	面積 (ha)	構成比 (%)
樹木被覆地	618.21	18.15
草 地	80.55	2.37
農 地	35.12	1.03
屋 上 緑 化	7.66	0.23
緑 被 地	741.54	21.77
裸 地	83.83	2.46
水 面	13.41	0.39
建 物 ・ 道 路 等	2,567.22	75.37
区 全 体	3,406.00	100.00

※ 割合は小数第 3 位を四捨五入したため合計が合わない場合がある。

区内の主な緑被地は、善福寺川沿いに位置する都立善福寺公園、都立和田堀公園、都立善福寺川緑地、神田川沿いに位置する区立公園、民間グラウンド、区内に点在する区立公園、社寺林、学校林、区北西部、南西部に多く分布する農地となっている。

樹木被覆地は JR 線駅周辺には少ないが、区内全域に分布している。都立公園、面積規模の大きい区立公園、社寺、集合住宅、学校には、まとまった樹木被覆地があり、みどりの拠点となっている。特に善福寺川、神田川、玉川上水沿いには規模の大きな樹木被覆地が分布しており、みどりのネットワーク形成上も重要なみどりとなっていることが分かる。その他中杉通りをはじめとした街路樹や、井草川遊歩道等の緑道では、まとまりとしては小さいが、連続して点在する樹木被覆地がみられる。また、区面積の約半分を占める住宅地には、多くの樹木被覆地がある。比較的面積の大きい屋敷林の他、住宅地の庭木や集合住宅の緑地も樹木被覆地の構成要素の一つとなっている。

主な草地は公園やグラウンドの芝生地、区立小学校等の校庭の芝生地であった。

農地の多くは区の北西部と南西部を中心に分布している。

屋上緑化はその他の緑被地に比べて面積規模は小さいが、区全域に分布が確認できた。杉並清掃工場、大宮前体育館等の公共施設には、規模の大きい屋上緑化が整備されている。

### 3. 各区の緑被率

本区の緑被率を他の区と比較したものを図 3-4、緑被地等の分布図を図 3-5 に示す。

区によって調査年度、調査方法、調査精度等が異なるため単純に比較はできないが、本区の緑被率 21.77%は練馬区、世田谷区、港区に次いで 4 番目に高い数値であった。

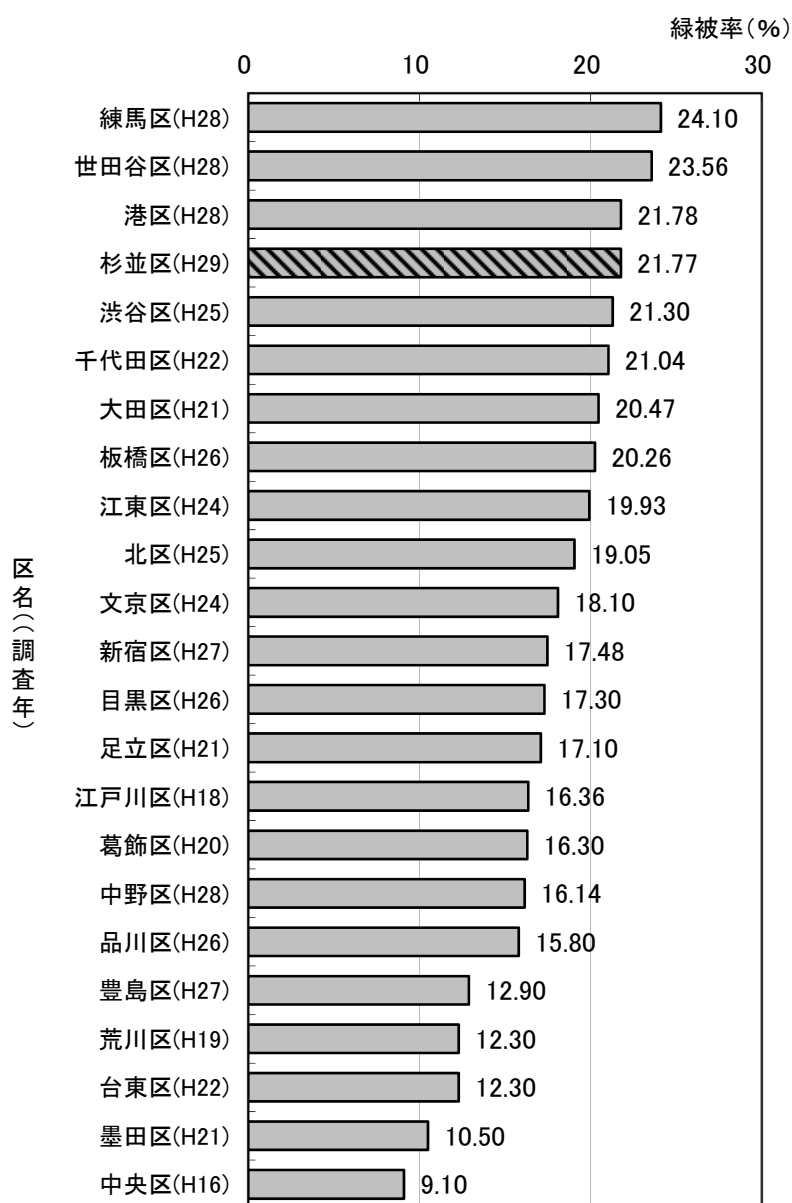
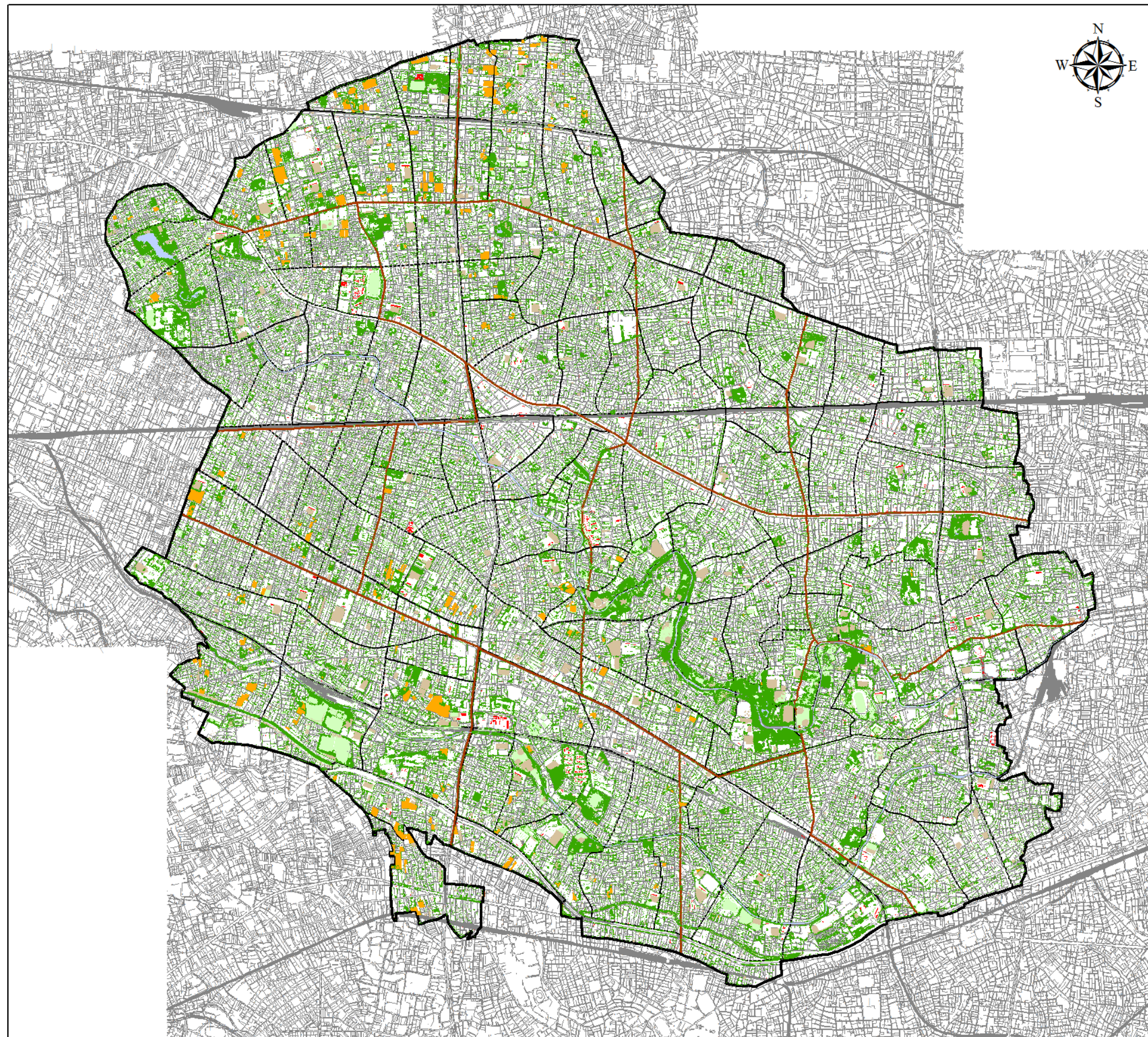


図 3-4 23 区の緑被率

※ 調査方法は各区により異なる





地域・ゾーン区分図

凡例

- 樹木被覆地
- 草地
- 農地
- 屋上緑化
- 裸地
- 水面
- ゾーン界
- 町丁目界
- 区域界

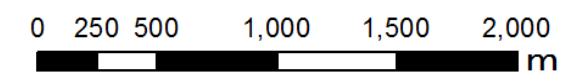


図 3-5 緑被地等分布図

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号)29 都市基交著第 81 号



## 4. 地域・ゾーン別緑被率

### 4-1 緑被地

地域・ゾーン別の緑被率を表 3-5 に示す。また、図 3-6、図 3-7 に地域別緑被率とゾーン別緑被率を示す。

地域別に見ると、最も緑被率が高いのは高井戸地域の 25.55%であり、最も緑被率が低いのは高円寺地域の 16.76%であった。

ゾーン別に見ると、14 ゾーンの中で最も緑被率が高いのは成田ゾーンの 27.47%であった。次いで上井草ゾーンの 26.73%、高井戸西ゾーンの 25.79%であった。

一方、緑被率が最も低いのは高円寺ゾーンの 13.56%で、次いで阿佐谷ゾーンの 15.98%であった。

表 3-5 地域・ゾーン別緑被率

地域・ゾーン	面積 (ha)	上段:面積(ha) 下段:率(%)						
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
上井草	153.40	29.13	3.66	7.71	0.49	41.00	4.98	0.02
		18.99	2.39	5.03	0.32	26.73	3.24	0.01
下井草	152.00	23.80	2.55	4.50	0.14	30.98	4.06	0.07
		15.66	1.68	2.96	0.09	20.38	2.67	0.05
井草	305.40	52.93	6.21	12.21	0.63	71.98	9.03	0.09
		17.33	2.03	4.00	0.21	23.57	2.96	0.03
西荻北	318.10	61.96	7.85	2.73	0.80	73.34	5.94	3.69
		19.48	2.47	0.86	0.25	23.06	1.87	1.16
西荻南	138.50	21.65	1.74	2.03	0.18	25.60	2.04	0.00
		15.63	1.26	1.47	0.13	18.49	1.48	0.00
西荻	456.60	83.61	9.59	4.76	0.98	98.95	7.98	3.69
		18.31	2.10	1.04	0.21	21.67	1.75	0.81
荻窪北	253.10	40.81	2.52	1.69	0.33	45.35	5.97	0.21
		16.12	1.00	0.67	0.13	17.92	2.36	0.08
荻窪南	289.50	49.34	5.14	3.43	0.89	58.81	6.66	1.88
		17.04	1.78	1.19	0.31	20.31	2.30	0.65
荻窪	542.60	90.15	7.67	5.12	1.22	104.16	12.63	2.09
		16.61	1.41	0.94	0.22	19.20	2.33	0.39
阿佐谷	236.30	35.12	2.20	0.03	0.41	37.76	3.90	0.07
		14.86	0.93	0.01	0.17	15.98	1.65	0.03
成田	328.70	80.07	8.54	1.03	0.65	90.28	12.11	1.76
		24.36	2.60	0.31	0.20	27.47	3.68	0.54
阿佐谷	565.00	115.19	10.74	1.06	1.05	128.04	16.01	1.83
		20.39	1.90	0.19	0.19	22.66	2.83	0.32
高円寺	213.10	26.73	1.62	0.02	0.53	28.90	4.00	0.00
		12.54	0.76	0.01	0.25	13.56	1.88	0.00
和田・堀ノ内	190.00	35.42	2.38	0.32	0.53	38.64	4.06	0.09
		18.64	1.25	0.17	0.28	20.34	2.13	0.05
高円寺	403.10	62.15	4.01	0.34	1.05	67.55	8.06	0.09
		15.42	0.99	0.08	0.26	16.76	2.00	0.02
高井戸西	371.40	68.32	17.75	9.18	0.54	95.79	11.82	0.65
		18.40	4.78	2.47	0.15	25.79	3.18	0.18
高井戸東	264.70	54.79	8.70	2.17	1.06	66.72	7.50	0.80
		20.70	3.29	0.82	0.40	25.21	2.83	0.30
高井戸	636.10	123.11	26.46	11.35	1.59	162.51	19.32	1.45
		19.35	4.16	1.78	0.25	25.55	3.04	0.23
永福	195.20	38.14	5.48	0.22	0.42	44.26	4.08	1.31
		19.54	2.81	0.11	0.21	22.68	2.09	0.67
方南・和泉	298.00	52.94	10.40	0.04	0.72	64.10	6.71	2.85
		17.76	3.49	0.01	0.24	21.51	2.25	0.96
方南・和泉	493.20	91.08	15.88	0.27	1.14	108.37	10.80	4.17
		18.47	3.22	0.05	0.23	21.97	2.19	0.84
区全体	3,406.00	618.21	80.55	35.12	7.66	741.54	83.83	13.41
		18.15	2.37	1.03	0.23	21.77	2.46	0.39

※ 割合は小数第 3 位を四捨五入したため合計が合わない場合がある。

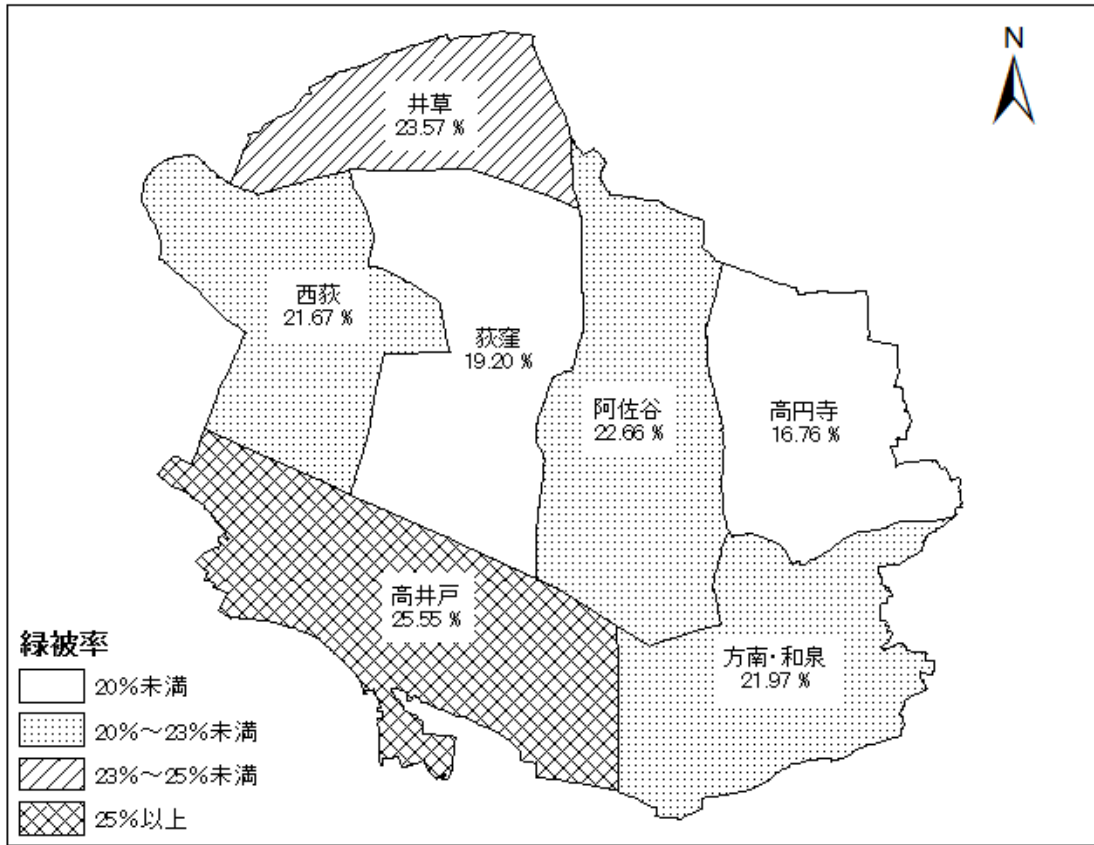


図 3-6 地域別緑被率

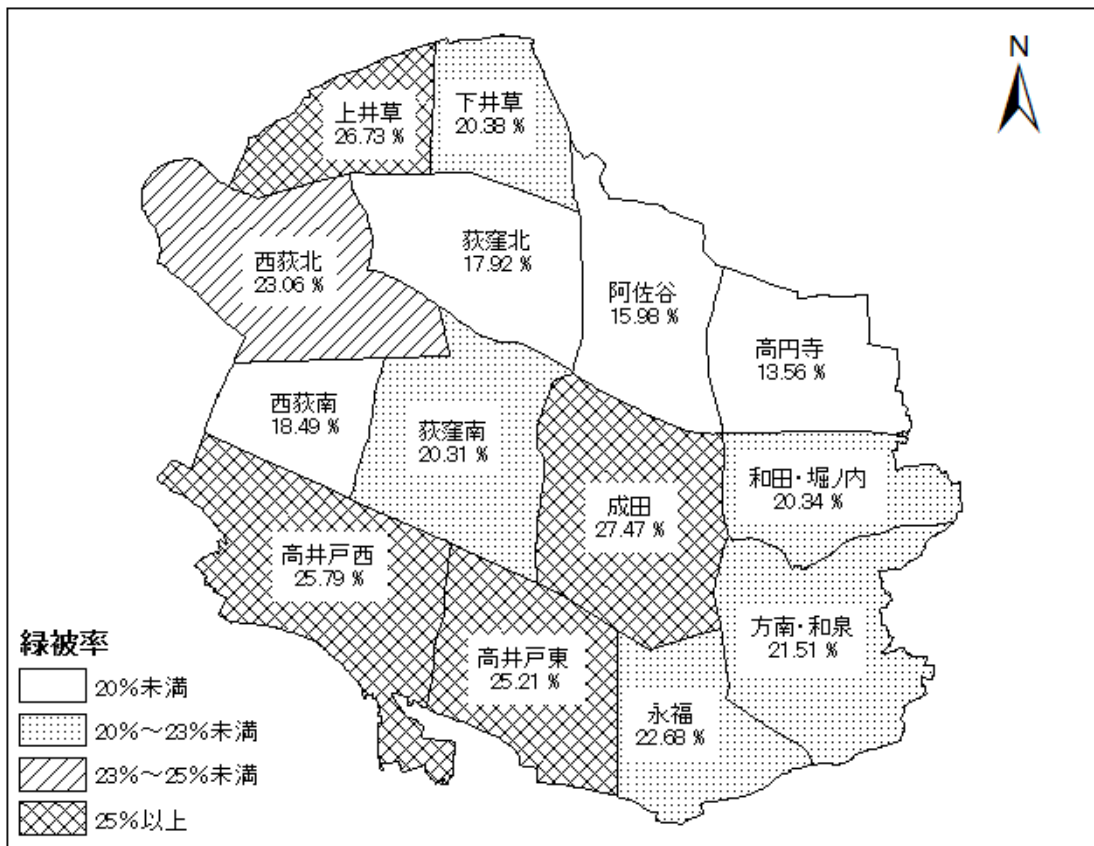


図 3-7 ゾーン別緑被率



## 4-2 樹木被覆地

図 3-8 に地域別樹木被覆地率を、図 3-9 にゾーン別樹木被覆地率を示す。

樹木被覆地率が最も高い地域は阿佐谷地域の 20.39%であった。阿佐谷地域には都立善福寺川緑地、都立和田堀公園、和田堀特別緑地保全地区（大宮八幡宮）等のまとまった樹木被覆地があり、樹木被覆率が高くなっている。次いで高井戸地域が 19.35%、方南・和泉地域が 18.47%となっている。高井戸地域の主な樹木被覆地は区立公園（柏の宮、塚山、三井の森）である。方南・和泉地域では、玉川上水、社寺林、学校林が主な樹木被覆地となっている。

樹木被覆率が最も低い地域は高円寺地域の 15.42%であった。高円寺地域の主な樹木被覆地は、区立馬橋公園や社寺境内にあるもので、特に高円寺駅周辺は非常に少ない状況であった。

樹木被覆地率をゾーン別に見ると、最も高いゾーンは成田ゾーンの 24.36%であった。次いで高井戸東ゾーンが 20.70%、永福ゾーンが 19.54%であった。一方、樹木被覆率が最も低いのは高円寺ゾーンの 12.54%であった。次いで低いのが阿佐谷ゾーンの 14.86%であった。阿佐谷ゾーンの主な樹木被覆地は中杉通りの街路樹、社寺境内のものであった。

## 4-3 草地

図 3-10 に地域別草地率を、図 3-11 にゾーン別草地率を示す。

草地率が最も高い地域は高井戸地域の 4.16%であった。主な草地は区立柏の宮公園や、その他民間の運動場のものである。次いで草地率が高いのは、方南・和泉地域で、3.22%であった。この地域では、済美山運動場のまとまった草地に加えて済美小学校や大宮小学校等の校庭が芝生化され、まとまった草地を形成している。

草地率が最も低い地域は、高円寺地域の 0.99%であった。堀之内小学校の校庭が芝生となっているが、その他にはまとまった草地がみられない。

草地率をゾーン別に見ると、最も高いゾーンは高井戸西ゾーンの 4.78%であった。次いで草地率が高いのは、方南・和泉ゾーン 3.49%、高井戸東ゾーン 3.29%であった。

一方、草地率が最も低いのは高円寺ゾーンの 0.76%、次いで阿佐谷ゾーンの 0.93%であった。これらのゾーンにはまとまった草地がほとんどみられなかった。

## 4-4 農地

図 3-12 に地域別農地率を、図 3-13 にゾーン別農地率を示す。

農地率が最も高い地域は井草地域の 4.00%、最も低い地域は方南・和泉地域の

0.05%であった。区の東部には、農地はほとんど分布していないことがわかる。

農地率が高いゾーンは上井草ゾーンの5.03%、下井草ゾーンの2.96%、高井戸西ゾーンの2.47%で、区の西側に多くの農地が分布している。農地面積では、高井戸西ゾーンが9.18haで最も多く、区全体の農地面積の約4分の1を占めている。また、高円寺、阿佐谷、方南・和泉ゾーンでは、ほとんど農地は見られなかった。

#### 4-5 屋上緑化

図3-14に地域別屋上緑化率を、図3-15にゾーン別屋上緑化率を示す。

屋上緑化率の最も高い地域は高円寺地域の0.26%で、次いで高井戸地域の0.25%であった。高円寺地域は、私立大学を含む学校の屋上緑化が多く分布している。高井戸地域も学校の屋上緑化が多いほか、杉並清掃工場や集合住宅で大規模な屋上緑化があった。最も低い地域は阿佐谷地域であるが、屋上緑化率は0.19%であった。

屋上緑化率の高いゾーンは高井戸東ゾーンの0.40%、上井草ゾーンの0.32%、荻窪南ゾーンの0.31%であった。屋上緑化面積が大きいのは、高井戸東ゾーンが1.06ha、荻窪南ゾーンが0.89haであった。

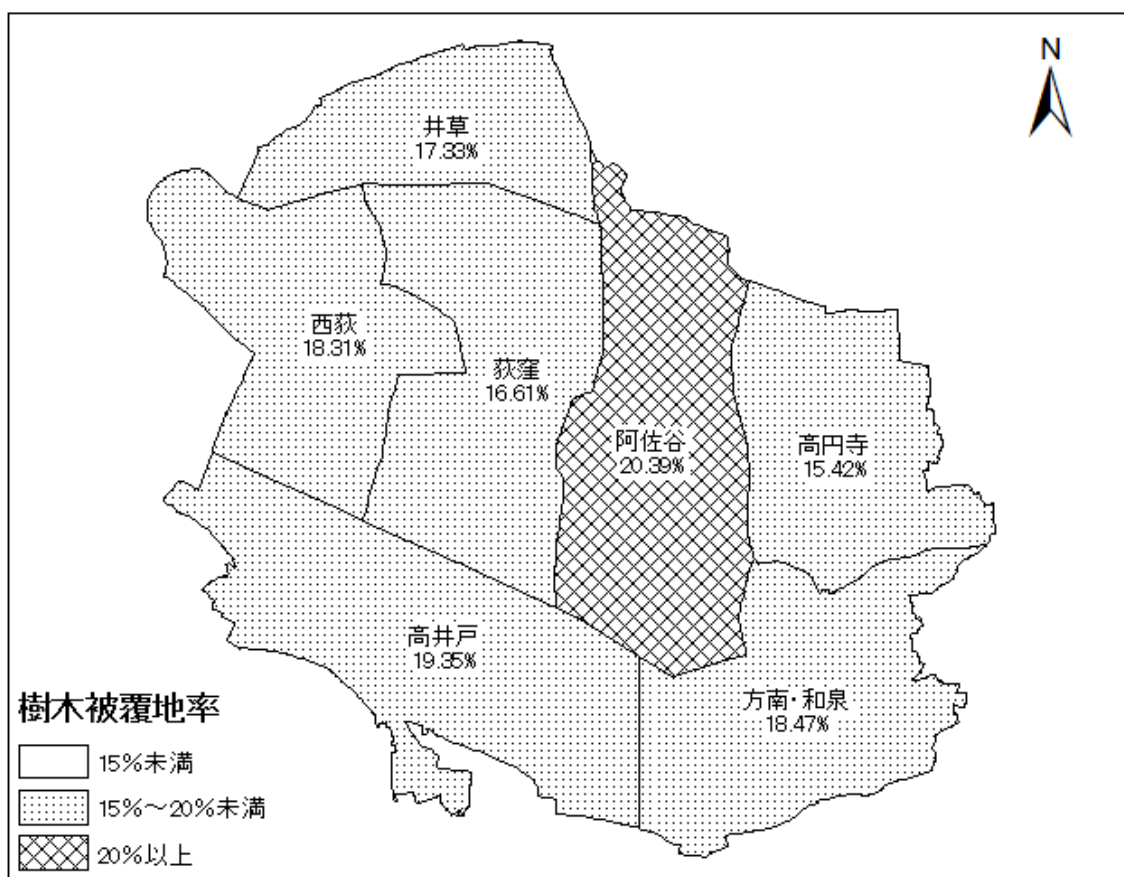


図 3-8 地域別樹木被覆地率

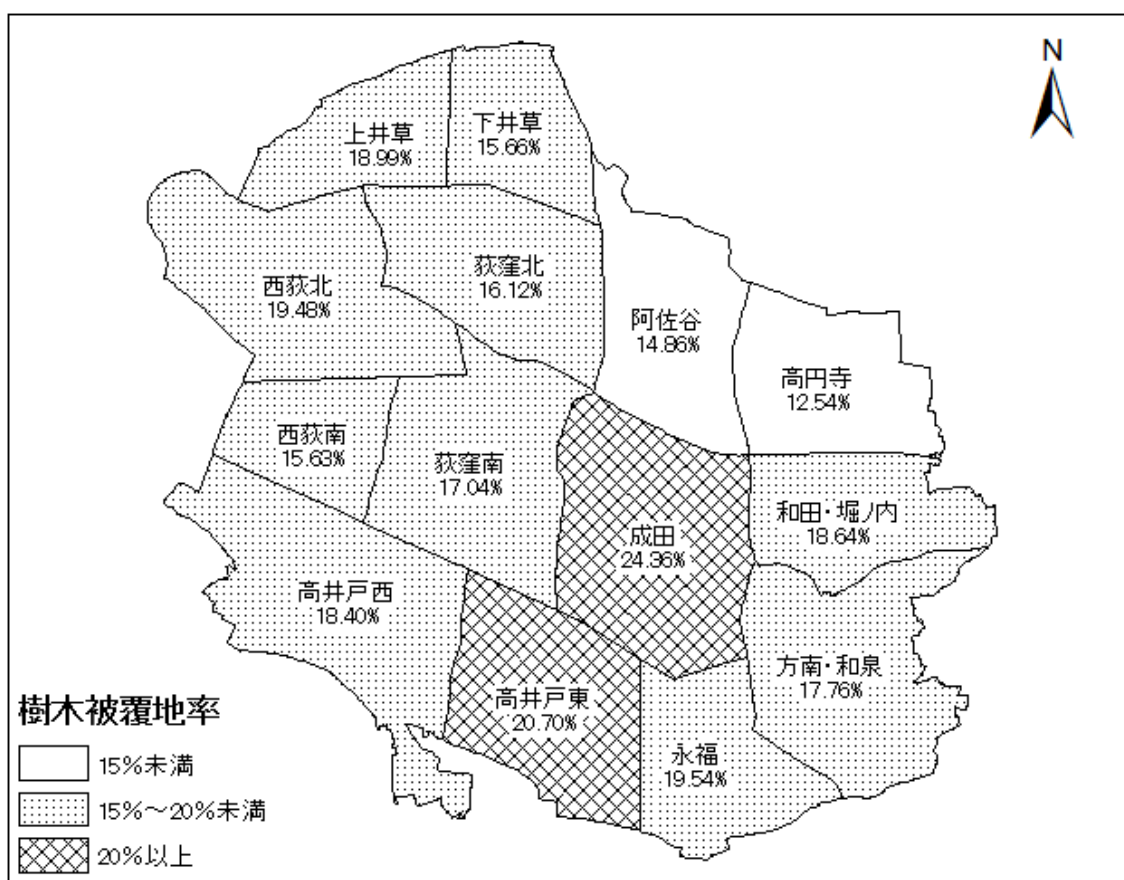


図 3-9 ゾーン別樹木被覆地率

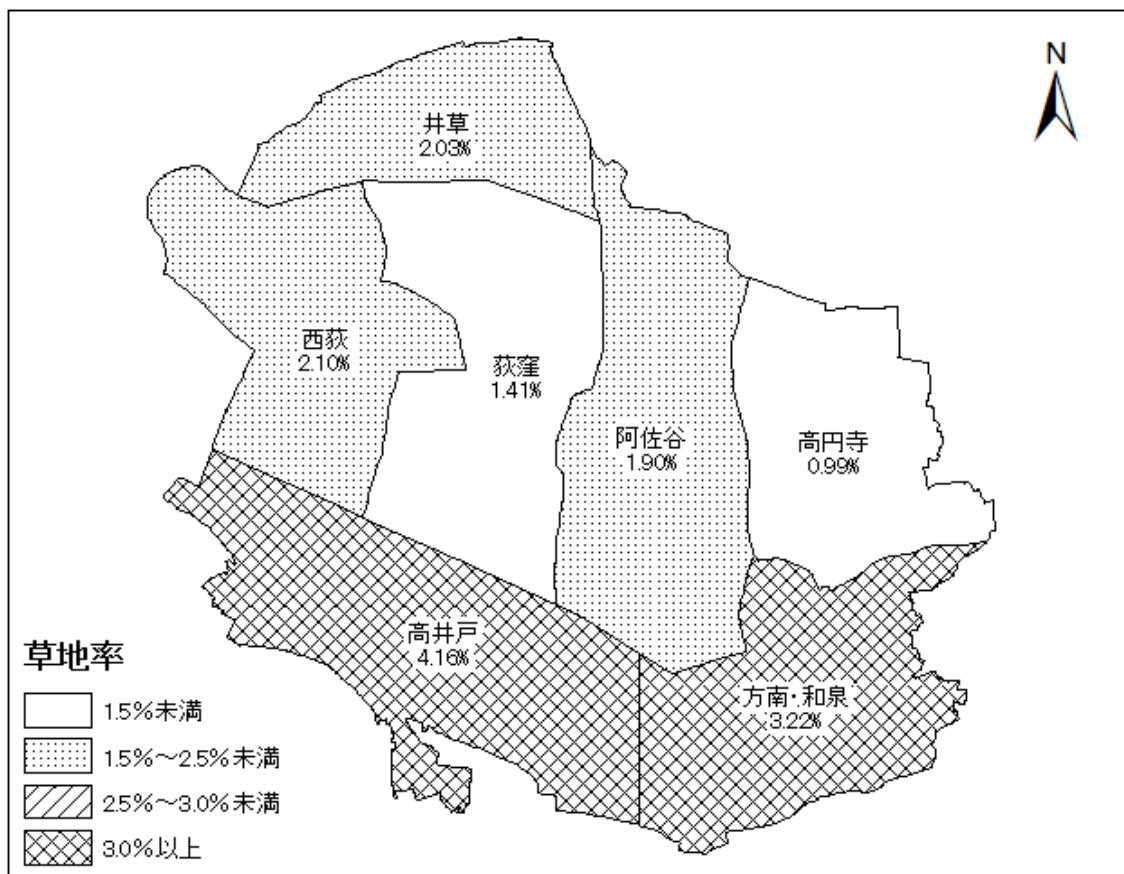


図 3-10 地域別草地率

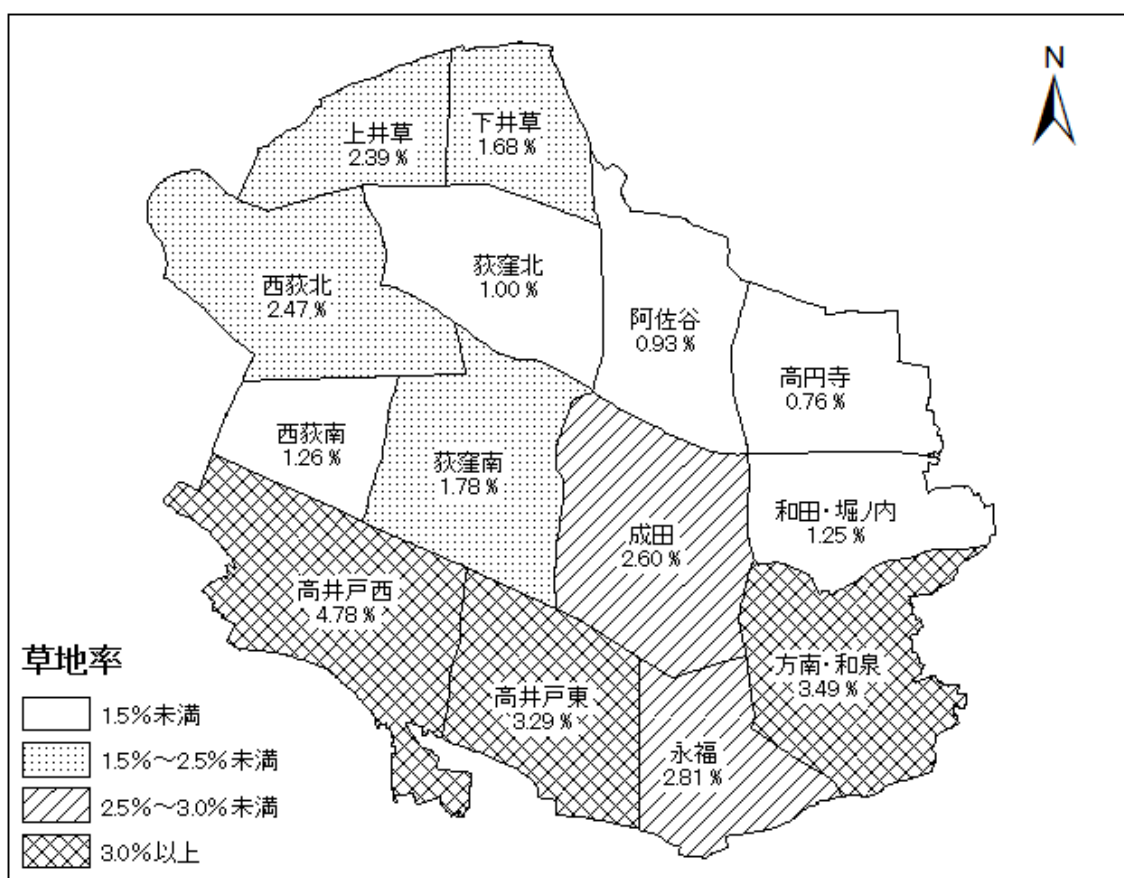


図 3-11 ゾーン別草地率

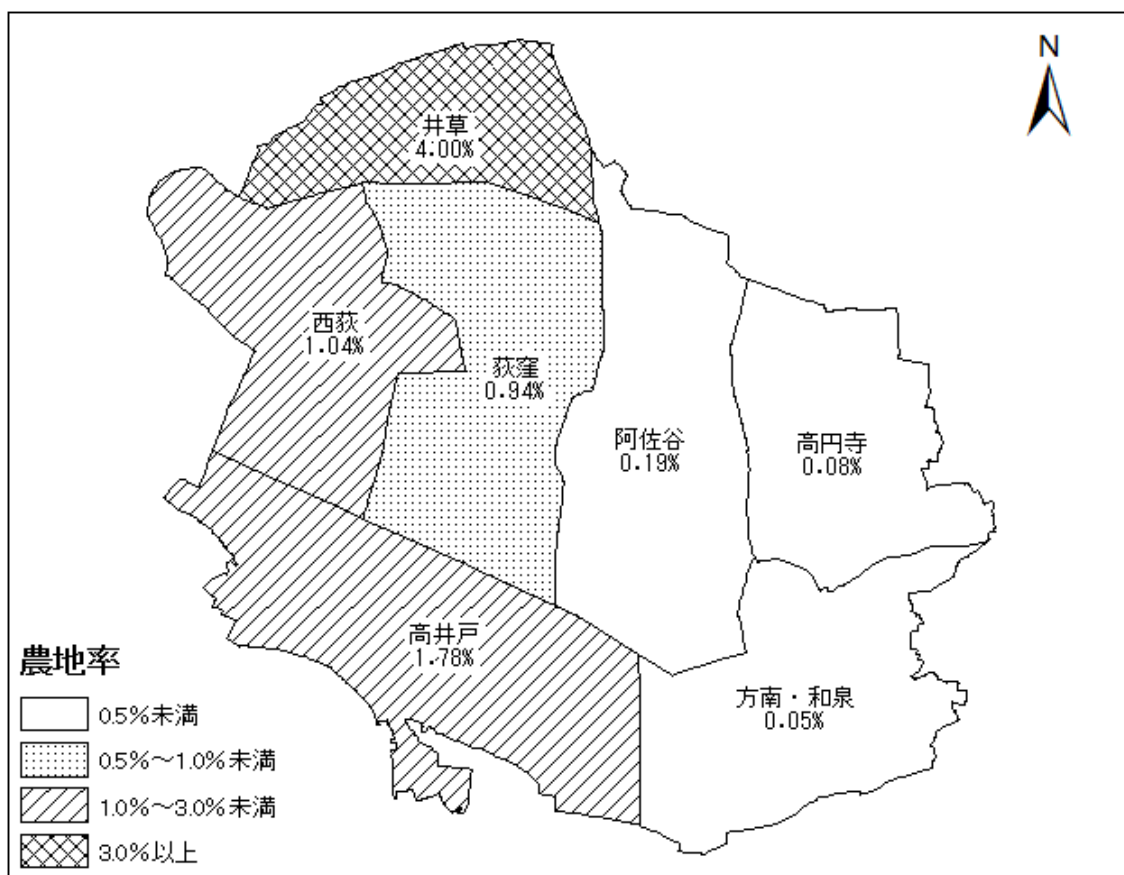


図 3-12 地域別農地率

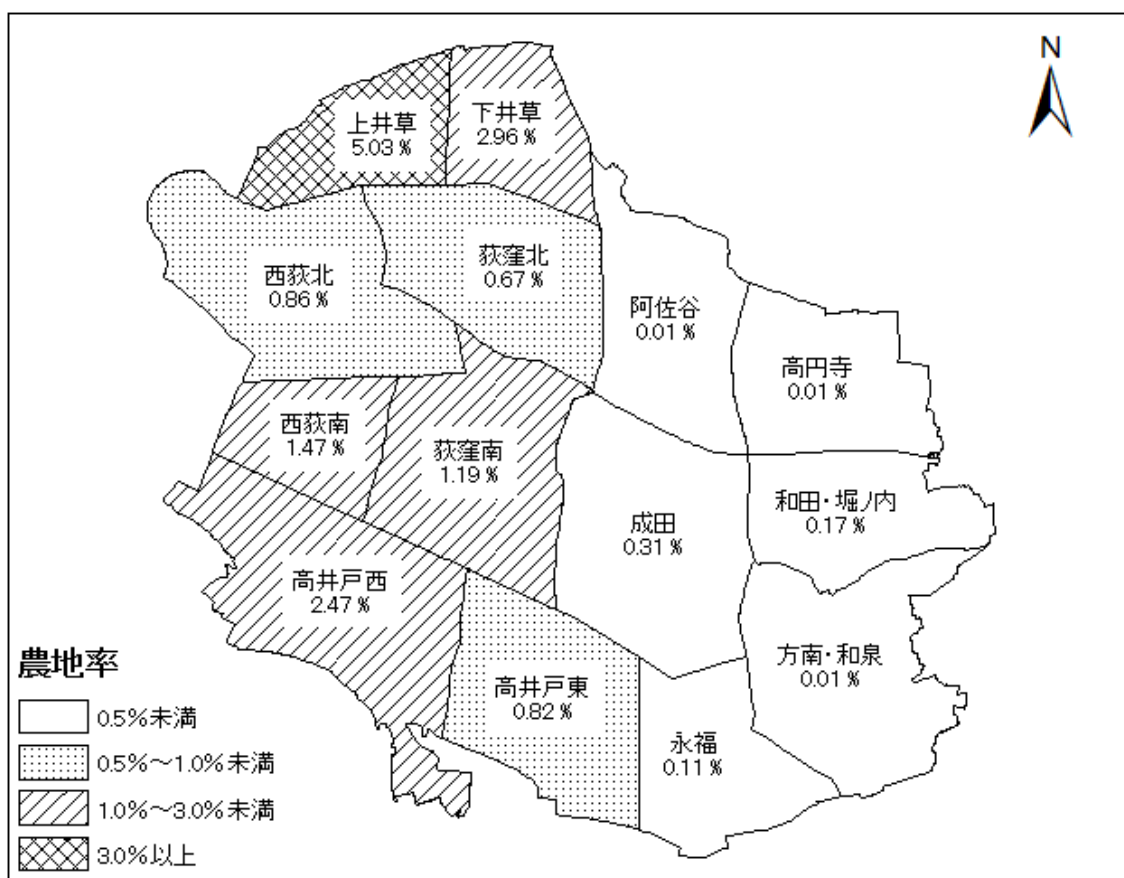


図 3-13 ゾーン別農地率

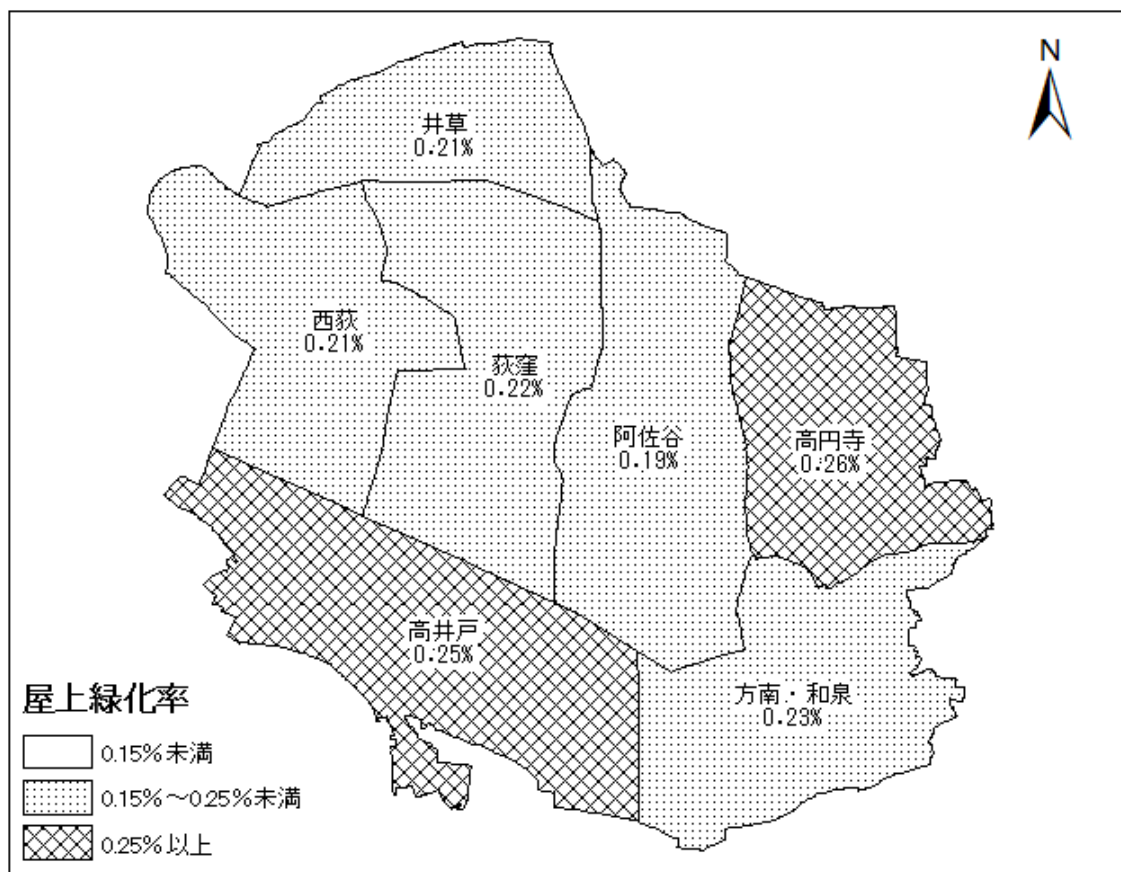


図 3-14 地域別屋上緑化率

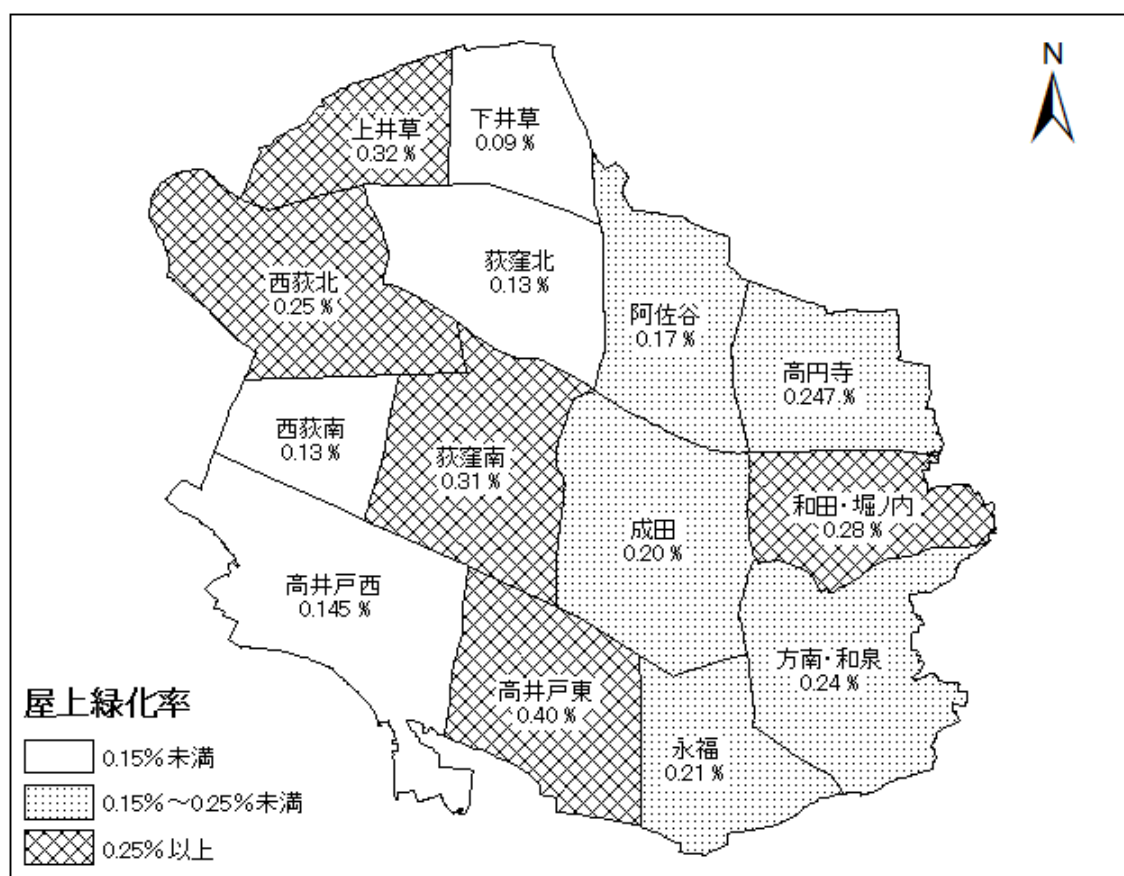


図 3-15 ゾーン別屋上緑化率



## 5. 地域地区等からみた緑被状況

### 5-1 用途地域から見た緑被状況

#### (1) 区全体の状況について

本区の用途地域の指定状況を表 3-6 と図 3-16 に示す。

住居系地域が区全体の 85.79%、商業系地域が 12.66%、準工業地域が 1.55% の構成比である。

表 3-6 用途地域 内訳

用途地域	面積(ha)	割合(%)
第一種低層住居専用地域	2,182.20	64.14
第二種低層住居専用地域	14.90	0.44
第一種中高層住居専用地域	414.90	12.20
第二種中高層住居専用地域	95.90	2.82
第一種住居地域	78.10	2.30
第二種住居地域	61.60	1.81
準住居地域	70.90	2.08
<b>住居系</b>	<b>2,918.50</b>	<b>85.79</b>
近隣商業地域	297.30	8.74
商業地域	133.30	3.92
<b>商業系</b>	<b>430.60</b>	<b>12.66</b>
準工業地域	52.90	1.55
合計	3,402.00	100.00

※ 第 36 回特別区の統計平成 28 年版（公益社団法人特別区協議会）によるため、区面積は国土地理院公表の面積（3,406ha）と異なる。

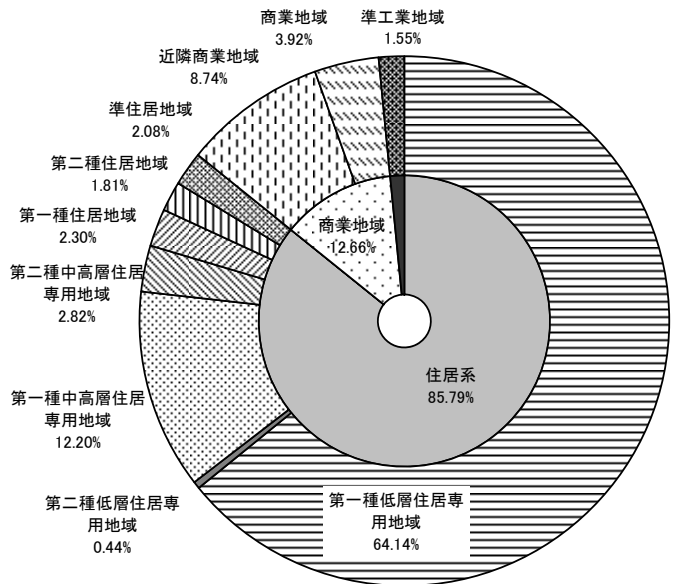


図 3-16 用途地域の面積割合

用途地域別の緑被地の状況を表 3-7、図 3-17 に示す。

住居系用途地域全体の緑被率は 23.60%、商業系用途地域全体では 9.88%、準工業地域では 19.52%であった。

区面積の多くを占める第一種低層住居専用地域の緑被率が 25.03%と最も高く、区全体の緑被地面積の 73.65%を占める。この用途地域内には都立公園を始めとした区内の主な緑被地が位置している。次いで緑被率が高いのは、2 番目に広い面積を占める第一種中高層住居専用地域で、緑被率は 22.05%、区全体緑被面積の 12.34%であった。この用途地域には大学や規模の大きな集合住宅が位置しており、これらの施設の緑被地面積が大きいことから緑被率が高くなっている。

商業系の緑被率は近隣商業地域が 10.18%、商業地域が 9.21%であった。商業系の用途地域面積は区全体面積の 12.66%であるが、緑被地面積は区全体緑被面積の 5.74%であり、緑被地が少ないことが分かる。商業系用途は環状七号線や早稲田通りといった主要道路、JR 中央線の沿線上、駅周辺の開発地といった、緑化余地が少ない場所に分布しているため、緑被率が低いと思われる。

表 3-7 用途地域別の緑被地の状況

用途地域	用途面積 (ha)					緑被地 (ha)	緑被率 (%)	裸地 (ha)	水面 (ha)
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)				
第一種低層住居 専用地域	2,182.20	448.88	62.32	31.69	3.26	546.14	25.03	60.79	10.52
第二種低層住居 専用地域	14.90	1.75	0.10	0.18	0.00	2.04	13.68	0.07	0.00
第一種中高層住居 専用地域	414.90	79.17	8.89	1.77	1.64	91.47	22.05	12.28	1.15
第二種中高層住居 専用地域	95.90	12.00	1.22	0.43	0.28	13.94	14.53	1.81	0.35
第一種住居地域	78.10	14.07	0.72	0.39	0.11	15.30	19.59	1.14	0.47
第二種住居地域	61.60	8.88	1.24	0.23	0.47	10.82	17.57	1.60	0.24
準住居地域	70.90	8.04	0.50	0.27	0.15	8.97	12.64	1.13	0.00
住居系	2,918.50	572.81	74.99	34.96	5.91	688.68	23.60	78.82	12.73
近隣商業地域	297.30	27.34	2.24	0.04	0.65	30.26	10.18	3.22	0.55
商業地域	133.30	10.83	0.89	0.00	0.56	12.28	9.21	0.99	0.00
商業系	430.60	38.16	3.13	0.04	1.21	42.54	9.88	4.22	0.55
準工業地域	52.90	7.24	2.44	0.11	0.54	10.33	19.52	0.79	0.13
区全体	3,406.00	618.21	80.55	35.11	7.66	741.54	21.77	83.83	13.41

※ 割合は小数第3位を四捨五入したため合計が合わない場合がある。

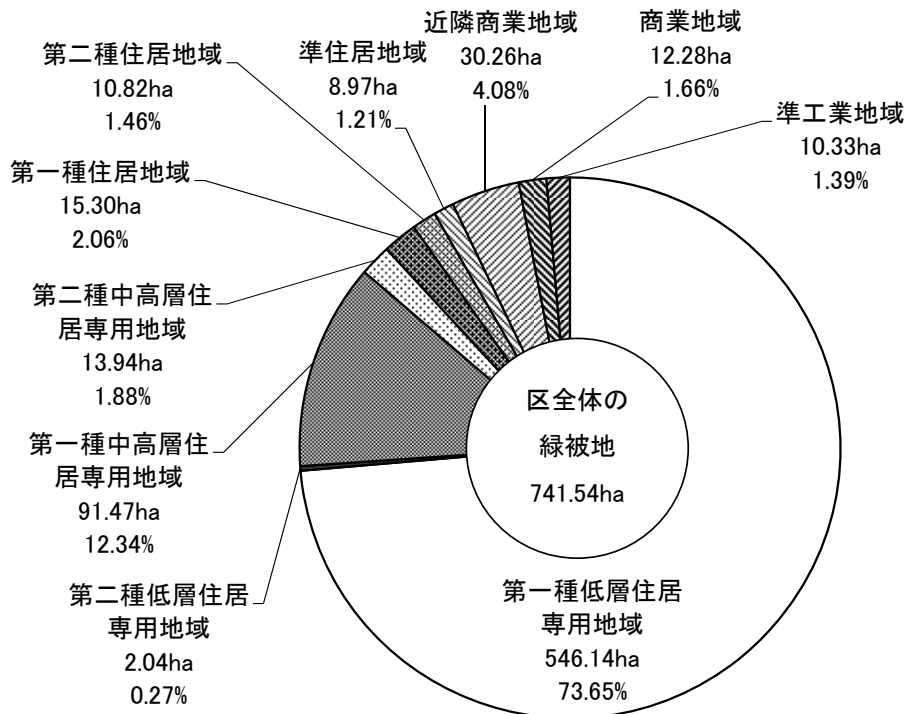


図 3-17 用途地域別の緑被地面積の割合



## (2) 地域別の用途地域別緑被率状況

地域別用途地域別の緑被率を表 3-8 に示す。

地域別では住居系の緑被率が最も高いのは高井戸地域の 26.69%、次いで井草地域の 24.97%であった。住居系の区全体の緑被率 23.60%よりも低い地域は西荻地域の 23.11%、荻窪地域の 21.12%、高円寺地域の 19.10%であった。

商業系では、緑被率が最も高いのは高井戸地域の 12.66%、次いで方南・和泉地域の 12.60%であった。

表 3-8 地域別の用途地域別緑被率

単位: %

用途地域	区全体	井草	西荻	荻窪	阿佐谷	高円寺	高井戸	方南・和泉
第一種低層住居 専用地域	25.03	25.97	23.45	22.99	26.45	19.73	28.12	26.30
第二種低層住居 専用地域	13.68	—	19.31	12.83	11.81	—	10.64	—
第一種中高層住 居専用地域	22.05	21.47	28.73	15.73	16.77	18.38	32.04	18.88
第二種中高層住 居専用地域	14.53	17.89	12.80	10.09	11.91	15.49	14.16	17.09
第一種住居地域	19.59	21.76	0.47	12.13	7.96	21.46	17.47	20.36
第二種住居地域	17.57	—	13.25	15.38	18.76	21.63	18.15	20.57
準住居地域	12.64	19.02	10.37	11.54	13.23	—	10.95	18.19
住居系	23.60	24.97	23.11	21.12	24.49	19.10	26.69	24.31
近隣商業地域	10.18	9.76	7.32	8.30	10.79	11.05	12.66	10.30
商業地域	9.21	—	7.35	7.39	9.07	7.16	—	20.67
商業系	9.88	9.76	7.33	7.93	9.94	9.69	12.66	12.60
準工業地域	19.52	—	39.83	14.76	—	14.67	10.05	13.23
区全体	21.77	23.57	21.67	19.20	22.66	16.76	25.55	21.97

※ 割合は小数第 3 位を四捨五入したため合計が合わない場合がある。

## 5-2 特別緑地保全地区・風致地区の緑被地の状況

特別緑地保全地区および風致地区の指定状況を表 3-9 に示す。

表 3-9 特別緑地保全地区・風致地区の指定状況

名称	面積 (ha)	指定年月日	備考
和田堀特別緑地保全地区	2.90	昭和 51 年 12 月 24 日	
善福寺風致地区	29.20	昭和 5 年 10 月 27 日	変更 昭和 38 年 10 月 1 日
和田堀風致地区	151.30	昭和 8 年 1 月 24 日	変更 昭和 38 年 10 月 1 日

特別緑地保全地区の緑被状況を表 3-10、図 3-18 に示す。和田堀特別緑地保全地区の大半が大宮八幡宮の社寺林で構成されている。緑被率は 61.49%で、ほとんどが樹木被覆地である。この社寺林は東京都指定天然記念物、杉並区の保護樹林に指定されており、クスノキをはじめとした大木が良好に生育している。隣接する都立和田堀公園と一体となって、区を代表するみどりの拠点となっている。なお、本地区の一部は平成 24 年度に土地所有者からの買い入れ申し出を受けて土地を購入し、平成 28 年に大宮の杜緑地が開園した。

表 3-10 特別緑地保全地区の緑被状況

上段:面積(ha)  
下段:構成比(%)

名称	地区面積	樹木被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
		1.78	0.003	0.00	0.00	1.78	0.11	0.00
和田堀特別緑地保全地区	2.90	61.38	0.11	0.00	0.00	61.49	3.79	0.00

風致地区の緑被状況を表 3-11、図 3-19、図 3-20 に示す。

善福寺風致地区は地区面積 29.20ha で都立善福寺公園と井草八幡宮を中心とした区域となっており、緑被率は 47.74%であった。

和田堀風致地区は地区面積 151.30ha で都立和田堀公園、区立和田堀公園、大宮八幡宮を中心とした区域で、緑被率は 36.48%であった。地区面積が 151.30ha と大きく、公園と社寺以外の区域を含むため、善福寺風致地区に比べると緑被率は低くなっている。

両地区とも緑被地のうち樹木被覆地の占める割合が高いが、和田堀風致地区では都立和田堀公園の芝生地により、草地面積が 9.31ha で草地率は 6.15%であった。

表 3-11 風致地区の緑被状況

上段:面積(ha)  
下段:構成比(%)

名称	地区面積 (ha)	樹木被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
		13.07	0.78	0.09	0.000	13.94	1.06	2.05
善福寺風致地区	29.20	44.76	2.67	0.31	0.00	47.74	3.63	7.02
和田堀風致地区	151.30	45.45	9.31	0.31	0.13	55.20	7.32	1.60
		30.04	6.15	0.20	0.09	36.48	4.84	1.06



図 3-18 和田堀特別緑地保全地区の緑被分布図





図 3-19 善福寺風致地区の緑被分布図

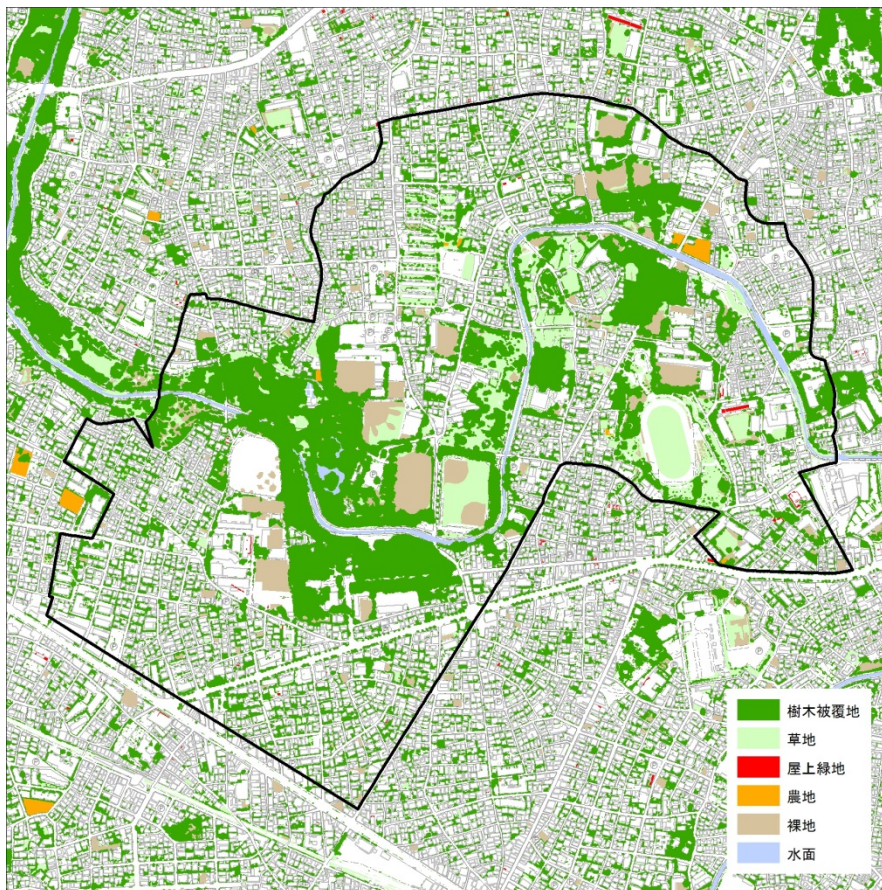


図 3-20 和田堀風致地区の緑被分布図

### 5-3 地区計画区域の緑被地の状況

本区ではまちづくり事業の一環として、11地区の地区計画を定めている。地区計画の概要を表3-12に示す。

表3-12 地区計画の概要

名 称	面 積 (ha)	決定年月日
蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画	約 26.1	昭和 58 年 9 月 5 日
気象研究所跡地周辺地区地区計画	約 18.0	昭和 59 年 3 月 21 日
宮前二丁目地区地区計画	約 24.0	平成 4 年 5 月 18 日
大田黒公園周辺地区地区計画	約 42.7	平成 8 年 1 月 5 日
高井戸東一丁目地区地区計画	約 8.7	平成 18 年 1 月 23 日
荻窪三丁目地区地区計画	約 6.7	平成 19 年 12 月 19 日
成田東四丁目地区地区計画	約 5.7	平成 21 年 6 月 22 日
宮前三丁目地区地区計画	約 0.8	平成 23 年 12 月 28 日
玉川上水・放射 5 号線周辺地区地区計画	約 34.2	平成 29 年 3 月 6 日
杉並区環七沿道地区計画	約 55.6	昭和 62 年 1 月 6 日
杉並区環状八号線沿道地区計画	約 50.2	平成 8 年 5 月 31 日

区内の特別緑地保全地区、風致地区、地区計画等区域位置図を図3-21に、地区計画区域の緑被状況を表3-13、表3-14に示す。

蚕糸試験場跡地周辺地区は区立蚕糸の森公園と区立杉並第十小学校を中心とした地区面積約 26.1ha の区域である。緑被率は 22.30% で区全体緑被率よりは高いが、11地区の中では最も低かった。区立蚕糸の森公園が主な緑被地である。

気象研究所跡地周辺地区は区立馬橋公園、区立馬橋小学校を中心とした面積約 18.0ha の区域で、緑被率は 23.00% であった。主な緑被地は区立馬橋公園で、比較的面積の大きい屋敷林も位置している。

宮前二丁目地区は区立荻窪小学校、区立宮前中学校を含んだ地区面積約 24.0ha の区域で、緑被率は 25.88% であった。区立荻窪小学校、区立宮前中学校、区立宮前公園が主な緑被地である。また、敷地規模の大きい集合住宅の緑地や屋敷林を有した地区である。農地の分布もみられ、農地率は 4.17% であった。

大田黒公園周辺地区は荻窪駅南側の面積約 42.7ha の区域で、緑被率は 24.92% であった。荻窪駅に近接した地区であるが、緑被率は区全体よりも高い。区立大田黒公園、区立読書の森公園等の緑被地の他、屋敷林等の民有地の緑被地もまとまって分布している。



高井戸東一丁目地区は区立高井戸中学校と区立柏の宮公園には含まれた地区面積約 8.7ha の区域である。緑被率は 57.36% であった。区立三井の森公園は、樹林地をそのまま残して整備しており、緑被率は非常に高い。また集合住宅においても、既存樹木を活かしており、建築物には屋上緑化が整備されていて、屋上緑化率は 4.60% であった。

荻窪三丁目地区は大田黒公園周辺地区の南東に接した荻窪団地を区域とする面積約 6.7ha で、緑被率は 32.09% であった。都市機構シャレール荻窪の整備によって、屋上緑化を含む新たな緑地が整備されている。

成田東四丁目地区は、都立杉並高校の東側の阿佐ヶ谷住宅跡地において、大規模集合住宅の建設された地区である。建築工事は完了し、新たな緑地が整備されている。緑被率は 28.25% であった。

宮前三丁目地区は都営大宮前アパートの建て替えに伴う地区計画で、緑被率は 36.25% であった。

玉川上水・放射 5 号線周辺地区は東京都市計画道路放射第 5 号線の整備に伴う地区計画で、国史跡である玉川上水を含んだ地区面積約 34.2ha の区域である。現在道路整備工事を行っており、緑被率は 26.43% であった。

沿道地区計画では、杉並区環七沿道地区の緑被率は 16.44%、杉並区環状八号線沿道地区の緑被率は 17.37% であった。

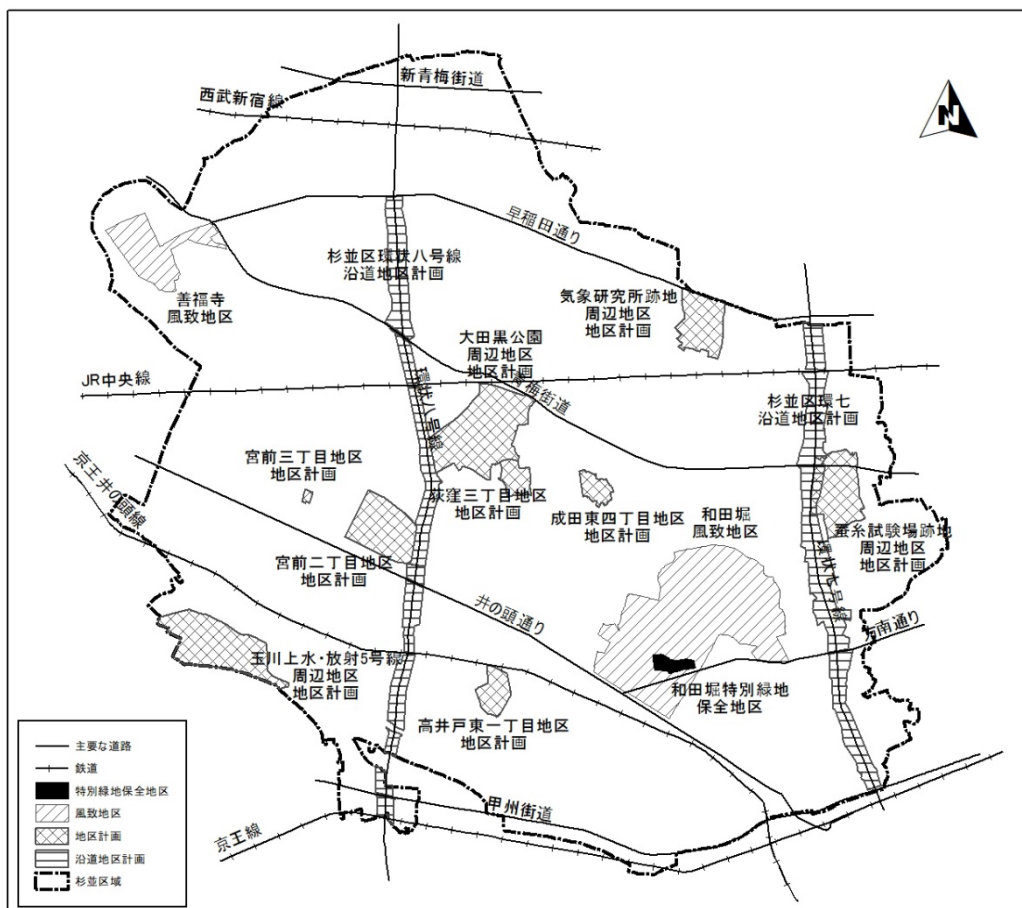


図 3-21 特別緑地保全地区、風致地区、地区計画等区域位置図

表 3-13 地区計画区域の緑被状況

上段:面積(ha)  
下段:構成比(%)

名称	地区面積 (ha)	構成比(%)						
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化	緑被地	裸地	水面
蚕糸試験場跡地周辺 地区地区計画	26.1	5.54	0.20	0.01	0.07	5.82	1.04	0.04
		21.23	0.77	0.04	0.27	22.30	3.98	0.15
気象研究所跡地周辺 地区地区計画	18.0	3.95	0.16	0.00	0.03	4.14	0.89	0.00
		21.94	0.89	0.00	0.17	23.00	4.94	0.00
宮前二丁目地区地区 計画	24.0	4.77	0.26	1.00	0.18	6.21	0.93	0.00
		19.88	1.08	4.17	0.75	25.88	3.88	0.00
大田黒公園周辺地区 地区計画	42.7	9.66	0.88	0.03	0.07	10.64	0.36	0.58
		22.62	2.06	0.07	0.16	24.92	0.84	1.36
高井戸東一丁目地区 地区計画	8.7	4.30	0.29	0.00	0.40	4.99	0.00	0.00
		49.43	3.33	0.00	4.60	57.36	0.00	0.00
荻窪三丁目地区地区 計画	6.7	1.14	0.71	0.00	0.30	2.15	0.18	0.00
		17.01	10.60	0.00	4.48	32.09	2.69	0.00
成田東四丁目地区地 区計画	5.7	1.51	0.10	0.00	0.00	1.61	0.00	0.00
		26.49	1.75	0.00	0.00	28.25	0.00	0.00
宮前三丁目地区地区 計画	0.8	0.27	0.02	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00
		33.75	2.50	0.00	0.00	36.25	0.00	0.00
玉川上水・放射5号線 周辺地区地区計画	34.2	6.89	1.25	0.88	0.02	9.04	1.42	0.01
		20.15	3.65	2.57	0.06	26.43	4.15	0.03

表 3-14 沿道地区計画区域の緑被状況

上段:面積(ha)  
下段:構成比(%)

名称	地区面積 (ha)	構成比(%)						
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化	緑被地	裸地	水面
杉並区環七沿道地区 計画	55.6	8.15	0.75	0.00	0.24	9.14	1.53	0.25
		14.66	1.35	0.00	0.43	16.44	2.76	0.45
杉並区環状八号線沿 道地区計画	50.2	7.88	0.45	0.25	0.14	8.72	1.44	0.21
		15.70	0.90	0.50	0.28	17.37	2.86	0.42

#### 5-4 みどりのベルトづくり推進地区の緑被地の状況

みどりのベルトづくりとは、公園や道路等の「公共のみどり」と「家の前のみどり」をベルトのように繋げる取り組みである。みどりをつなげることで、潤いのある美しいまちなみの形成やみどりをきっかけとしたコミュニティーの形成等の効果が期待されている。

みどりのベルトづくり推進地区は、表 3-15 に示す 2 地区が指定されている。

表 3-15 みどりのベルトづくり推進地区の概要

地区名	地区面積 (ha)	備 考
高円寺推進地区	約 62.9	高円寺駅南口周辺の区域
堀ノ内推進地区	約 142.3	堀ノ内二・三丁目、松ノ木二・三丁目、梅里一・二丁目

推進地区の緑被状況を表 3-16、高円寺推進地区の緑被分布図を図 3-22、堀ノ内推進地区の緑被分布図を図 3-23 に示す。

高円寺推進地区は、高円寺駅南側の JR 中央線から青梅街道までの地区で、区内では特にみどりの少ない区域となっている。本調査での緑被率は 12.35%であった。

堀ノ内推進地区は、北は青梅街道、東は環状七号線、南は善福寺川に囲まれた地区で社寺林が多い地域である。本調査での緑被率は 20.05%であった。

表 3-16 みどりのベルトづくり推進地区の緑被状況

名称	地区面積 (ha)	上段：面積 (ha) 下段：構成比 (%)						
		樹木被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
高円寺推進地区	62.9	7.28	0.26	0.01	0.22	7.77	0.61	0.00
		11.57	0.41	0.02	0.35	12.35	0.97	0.00
堀ノ内推進地区	142.3	26.61	1.42	0.31	0.18	28.52	2.10	0.07
		18.71	1.00	0.22	0.13	20.05	1.48	0.05



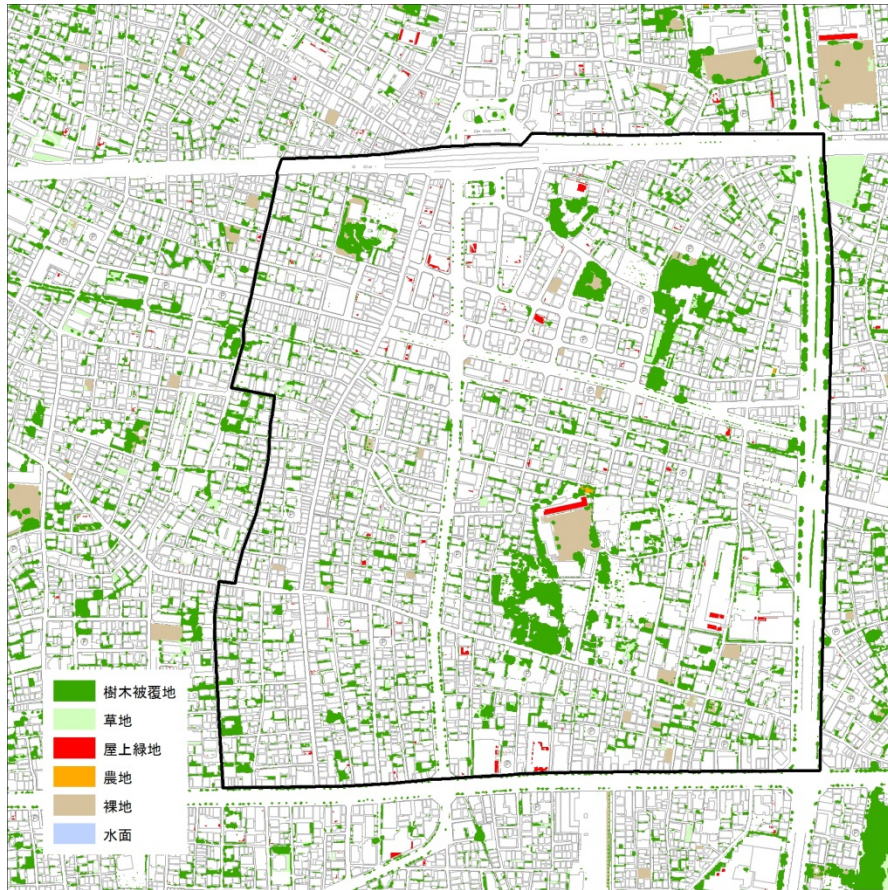


図 3-22 高円寺推進地区の緑被分布図

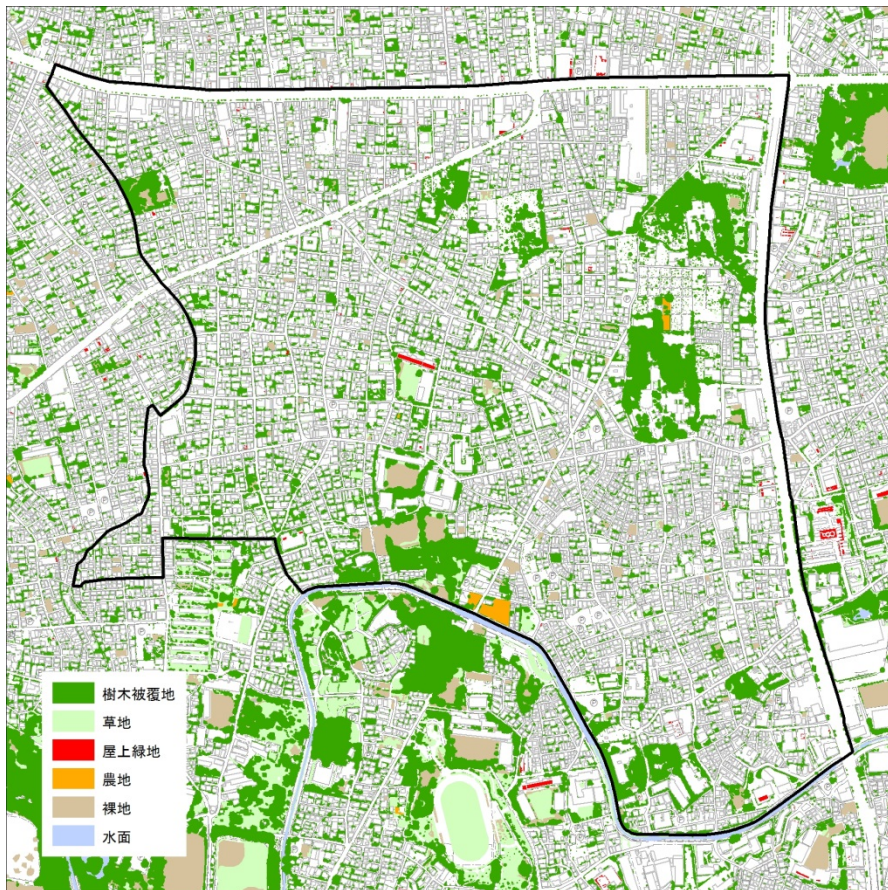


図 3-23 堀ノ内推進地区の緑被分布図

## 5-5 農の風景育成地区の緑被の状況

「農の風景育成地区」とは、都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を維持していくために、東京都が創設した制度である。平成29年3月31日に指定された「荻窪一丁目・成田西二・三丁目農の風景育成地区」は、都立善福寺川緑地に隣接し、農業公園、屋敷林のほか生産緑地が点在する地域で、地区面積は21.7haである。地区の概要を表3-17に示す。

表3-17 農の風景育成地区の概要

位 置	地区面積 (ha)	決定年月日
荻窪一丁目・成田西二・三丁目	約 21.7	平成29年3月31日

農の風景育成地区の緑被状況を表3-18に示し、図3-24に緑被分布図を示す。地区内の緑被地の構成のうち、農地面積は1.23haであり、地区面積に占める農地面積の割合は5.65%である。区全体の農地面積の割合は1.03%であることから、農の風景育成地区には多くの農地があることが分かる。また、樹木被覆地面積は4.86ha、樹木被覆率も22.32%であり、区全体の樹木被覆率である18.15%よりも高い数値となっている。地区内には、後世にのこしたい屋敷林<sup>\*</sup>表彰地、成田西切通し緑地や成田西いこい緑地、五日市街道のケヤキ並木等の樹木や樹林地が位置している。

※平成24年度に実施した顕彰

表3-18 農の風景育成地区の緑被状況

名称	地区面積 (ha)	上段:面積(ha) 下段:構成比(%)						
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
荻窪一丁目・ 成田西二・三丁目 農の風景育成地区	21.7	4.86	0.54	1.23	0.07	6.69	0.78	0.00
		22.32	2.48	5.65	0.32	30.72	3.58	0.00

※集計方法が異なるため、農の風景育成計画書と農地の数値は異なる。



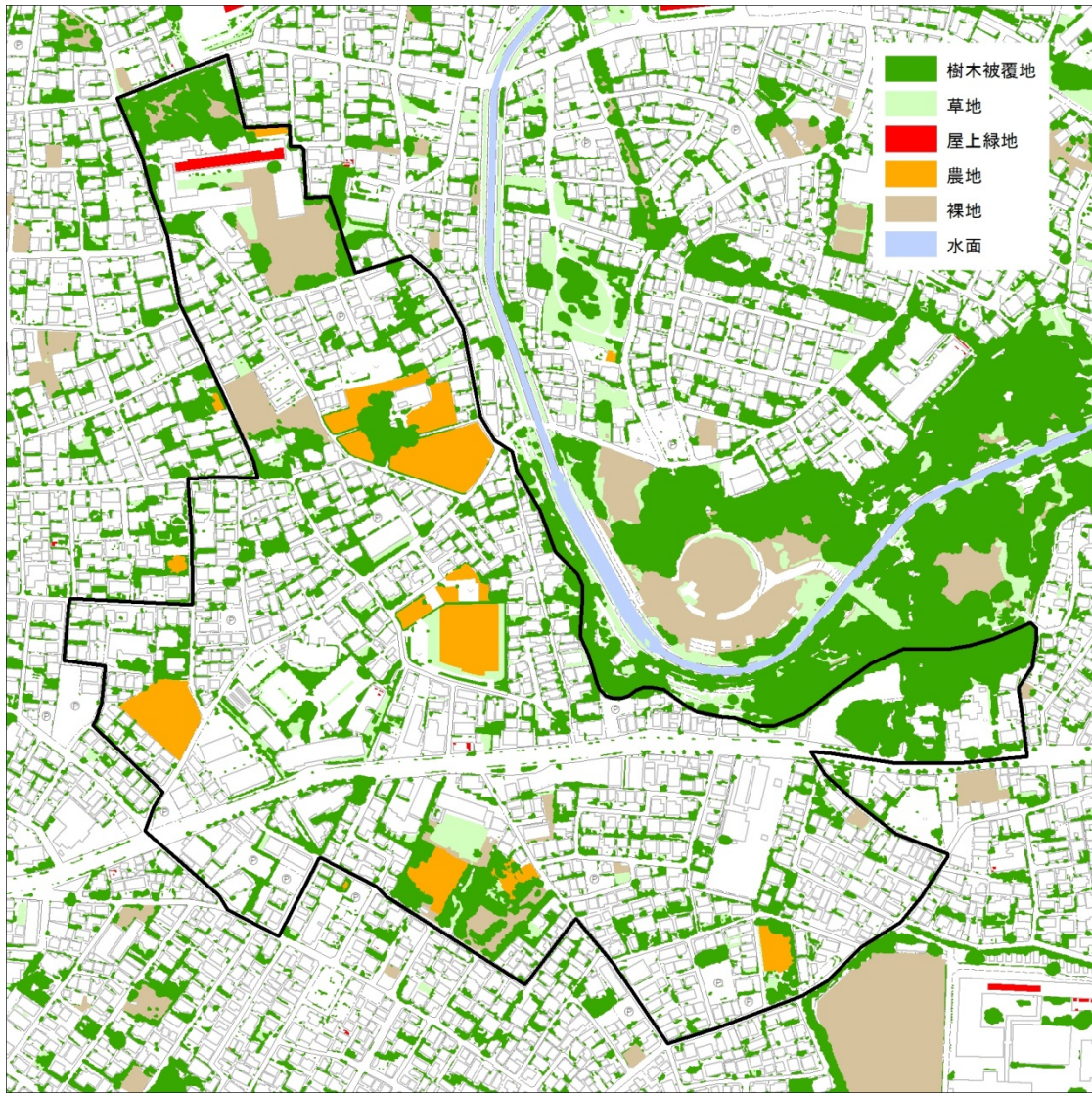


図 3-24 農の風景育成地区の緑被分布図

## 5-6 杉並らしいみどりの保全地区の緑被地の状況

杉並らしいみどりの保全地区は、平成26年9月に策定された「杉並区緑地保全方針」において、屋敷林と農地の保全に向けた取り組みを重点的に行うための地区として、10箇所を選定した。杉並らしいみどりの保全地区の概要を表3-19に示す。

表3-19 杉並らしいみどりの保全地区の概要

名称	地区面積※ (ha)
井草二・三丁目地区	約44.60
井草五丁目地区	約15.20
下井草二・三丁目地区	約53.40
下井草四・五丁目地区	約40.50
上井草三・四丁目地区	約60.10
清水一・二・三丁目地区	約60.50
阿佐谷北一・五丁目地区	約46.90
南荻窪二・三丁目地区	約45.60
荻窪一丁目・成田西三丁目地区	約56.00
上高井戸一・二丁目地区	約56.50

※地区面積については町丁目面積で算出した。

杉並らしいみどりの保全地区の緑被状況を表3-20、各地区の緑被分布図を図3-25～図3-34に示す。

最も緑被率が高いのは荻窪一丁目・成田西三丁目地区の35.96%、次いで井草五丁目地区が33.40%、上井草三・四丁目地区が27.39%であった。

また、農地率が高いのは、井草五丁目地区の12.31%、井草二・三丁目地区の7.09%、上高井戸一・二丁目地区の5.91%、上井草三・四丁目地区の4.83%であった。

表 3-20 杉並らしいみどりの保全地区の緑被状況

上段：面積 (ha)  
下段：構成比 (%)

名称	地区面積 (ha)	構成比 (%)						
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化	緑被地	裸地	水面
井草二・三丁目地区	44.60	6.85	0.72	3.16	0.07	10.80	1.04	0.00
		15.36	1.61	7.09	0.16	24.22	2.33	0.00
井草五丁目地区	14.70	2.79	0.30	1.81	0.01	4.91	0.18	0.00
		18.98	2.04	12.31	0.07	33.40	1.22	0.00
下井草二・三丁目地区	53.40	7.36	0.87	0.43	0.01	8.67	0.98	0.14
		13.78	1.63	0.81	0.02	16.24	1.84	0.26
下井草四・五丁目地区	40.50	7.77	0.89	0.30	0.05	9.01	1.31	0.00
		19.19	2.20	0.74	0.12	22.25	3.23	0.00
上井草三・四丁目地区	60.10	12.18	1.20	2.90	0.18	16.46	2.67	0.00
		20.27	2.00	4.83	0.30	27.39	4.44	0.00
清水一・二・三丁目地区	60.50	11.90	0.69	1.48	0.04	14.11	1.66	0.15
		19.67	1.14	2.45	0.07	23.32	2.74	0.25
阿佐谷北一・五丁目地区	46.90	8.88	0.22	0.00	0.10	9.20	0.96	0.00
		18.93	0.47	0.00	0.21	19.62	2.05	0.00
南荻窪二・三丁目地区	45.60	8.45	0.56	0.17	0.23	9.41	0.67	0.23
		18.53	1.23	0.37	0.50	20.64	1.47	0.50
荻窪一丁目・ 成田西三丁目地区	56.00	16.83	1.97	1.25	0.09	20.14	2.18	0.88
		30.05	3.52	2.23	0.16	35.96	3.89	1.57
上高井戸一・二丁目地区	56.50	8.46	1.21	3.34	0.06	13.07	1.76	0.00
		14.97	2.14	5.91	0.11	23.13	3.12	0.00



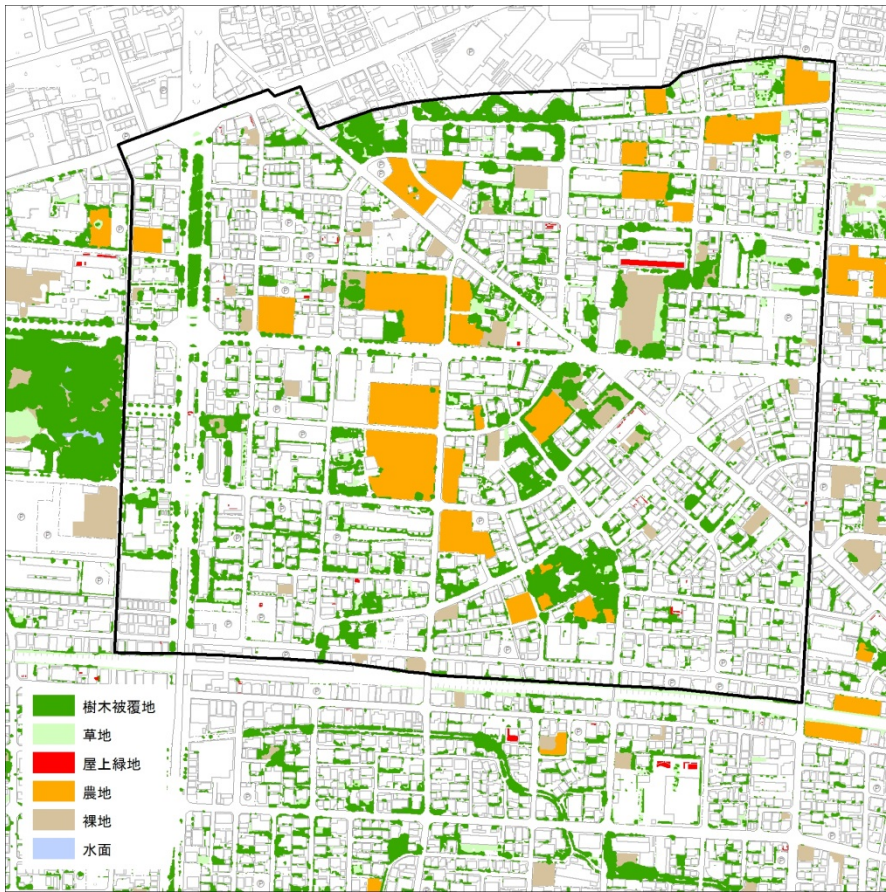


図 3-25 井草二・三丁目地区の緑被分布図

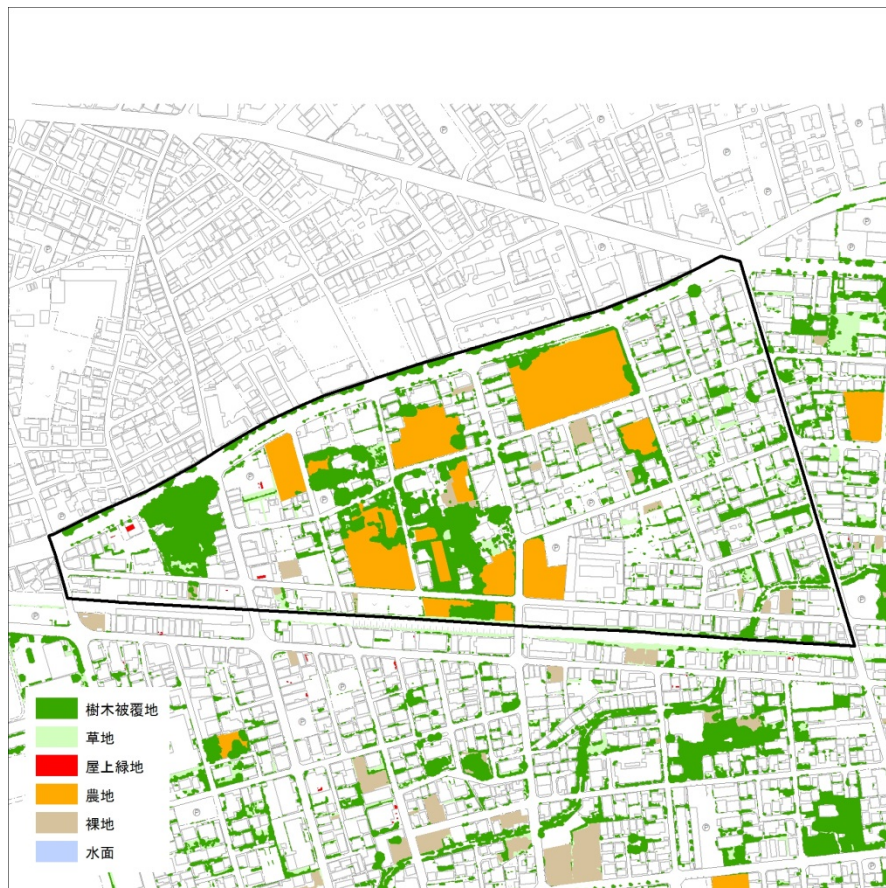


図 3-26 井草五丁目地区の緑被分布図



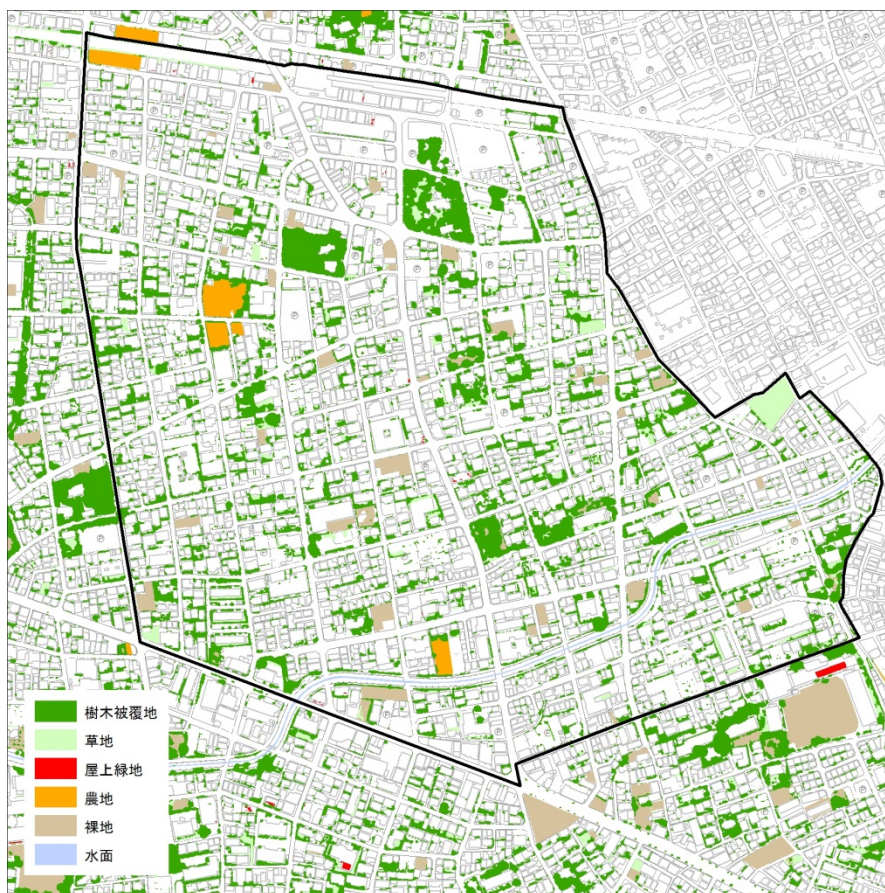


图 3-27 下井草二・三丁目地区の緑被分布図

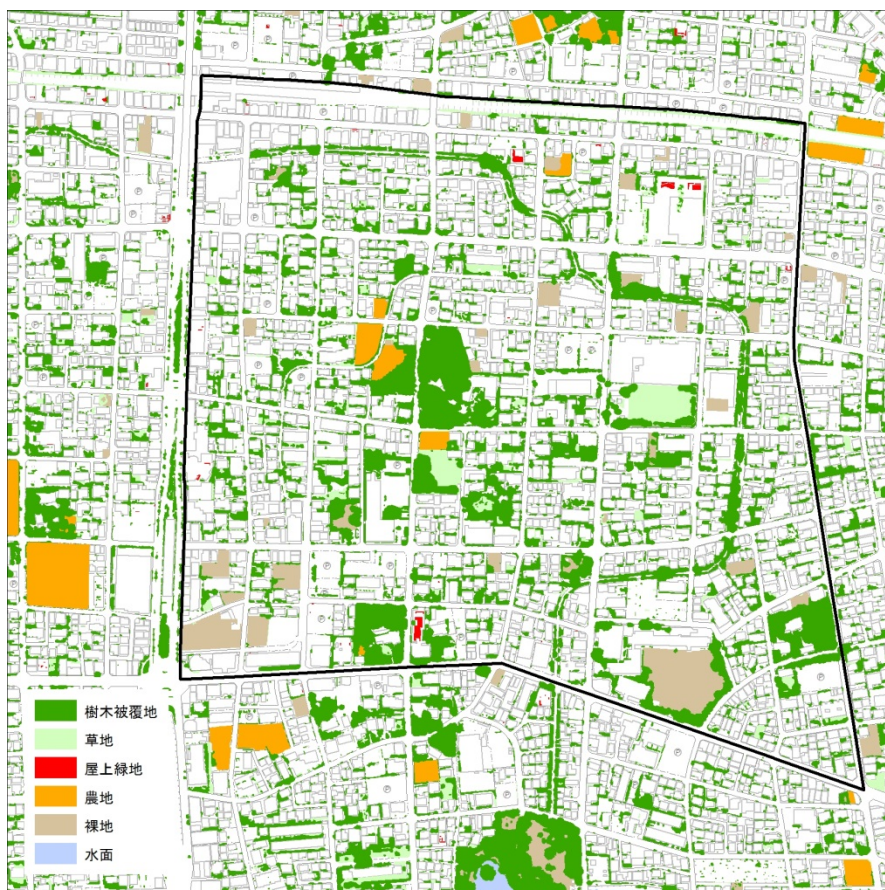


图 3-28 下井草四・五丁目地区の緑被分布図



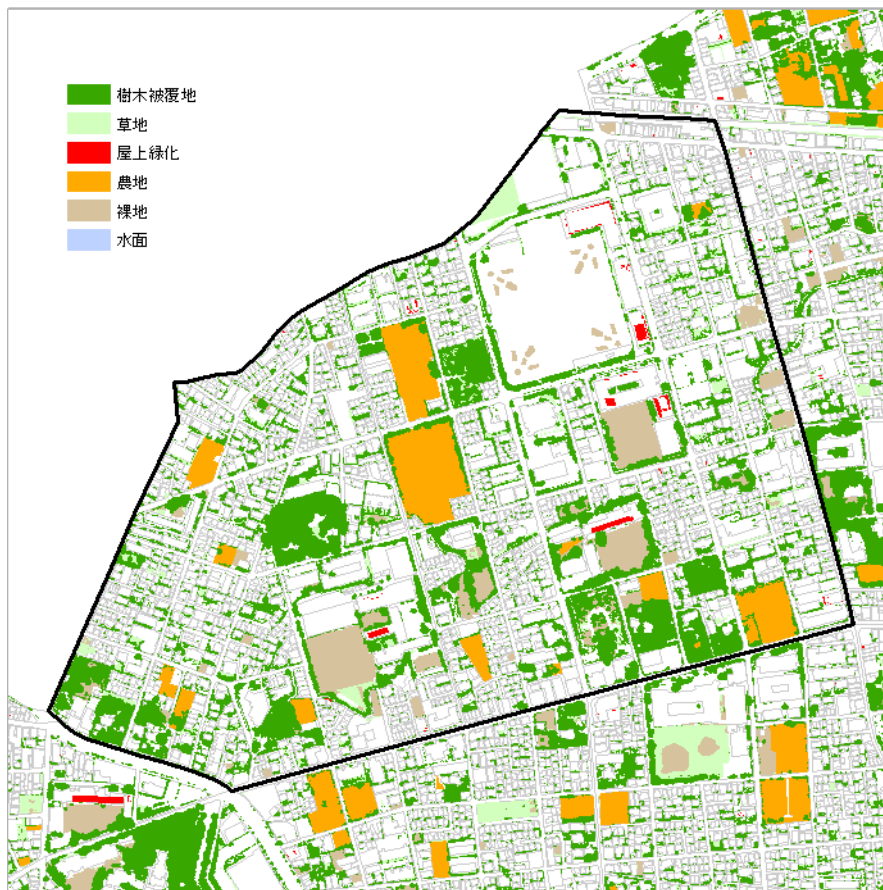


图 3-29 上井草三・四丁目地区の緑被分布図

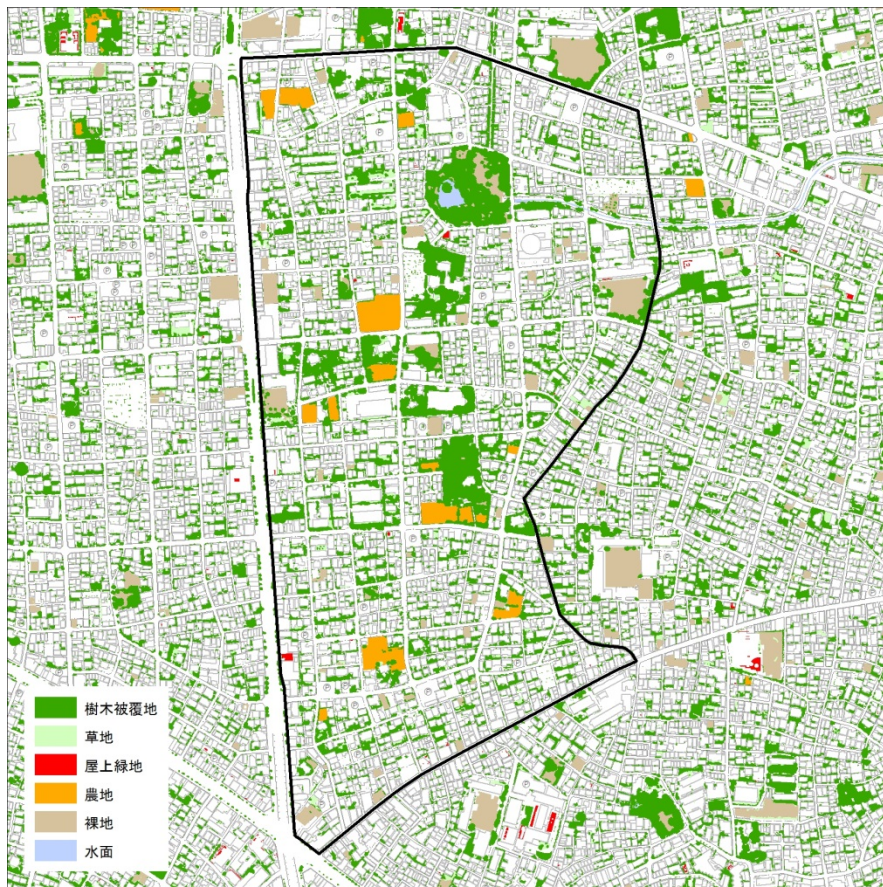


图 3-30 清水一・二・三丁目地区の緑被分布図



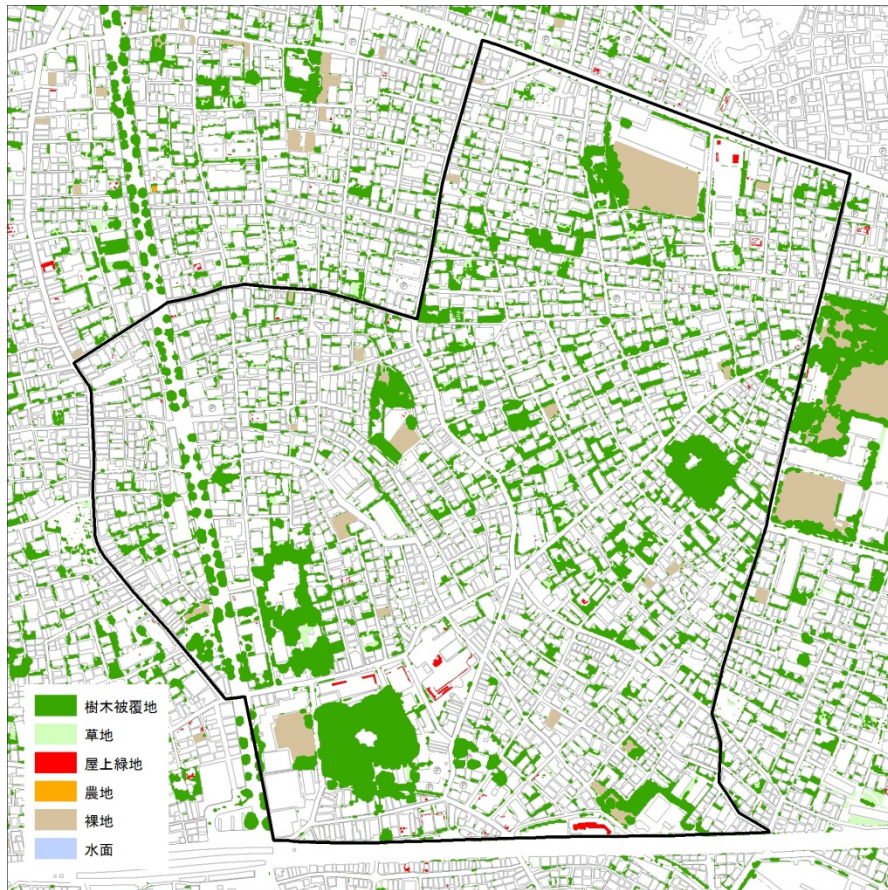


图 3-31 阿佐谷北一・五丁目地区の緑被分布図



图 3-32 南荻窪二・三丁目地区の緑被分布図



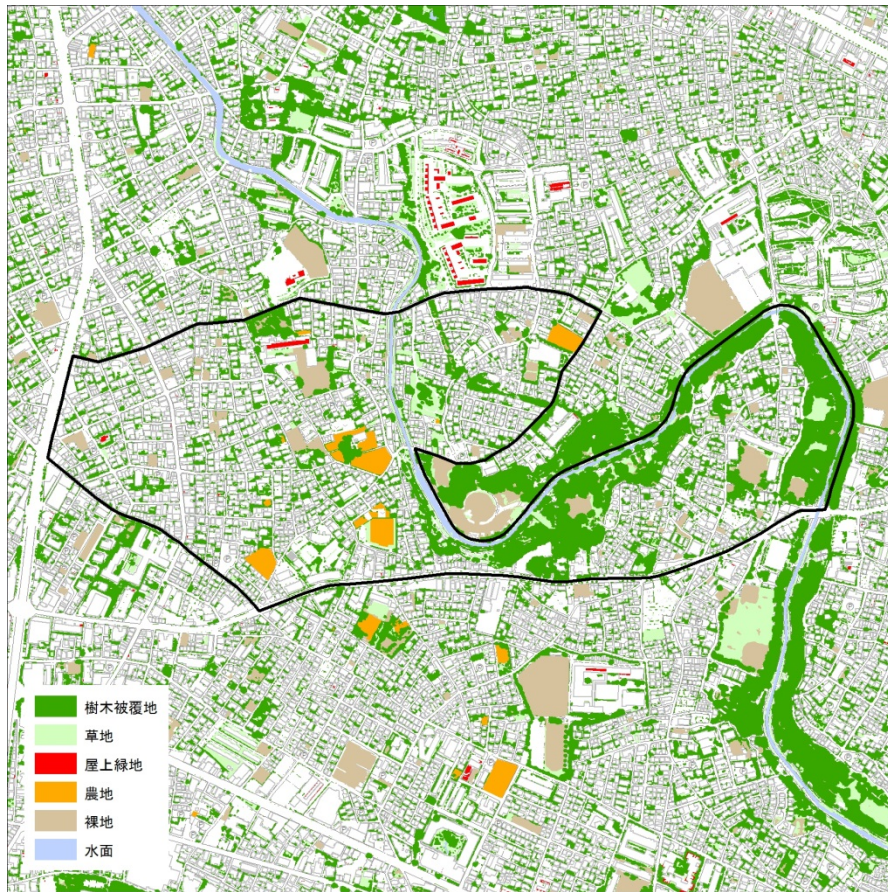


図 3-33 萩窪一丁目・成田西三丁目地区の緑被分布図

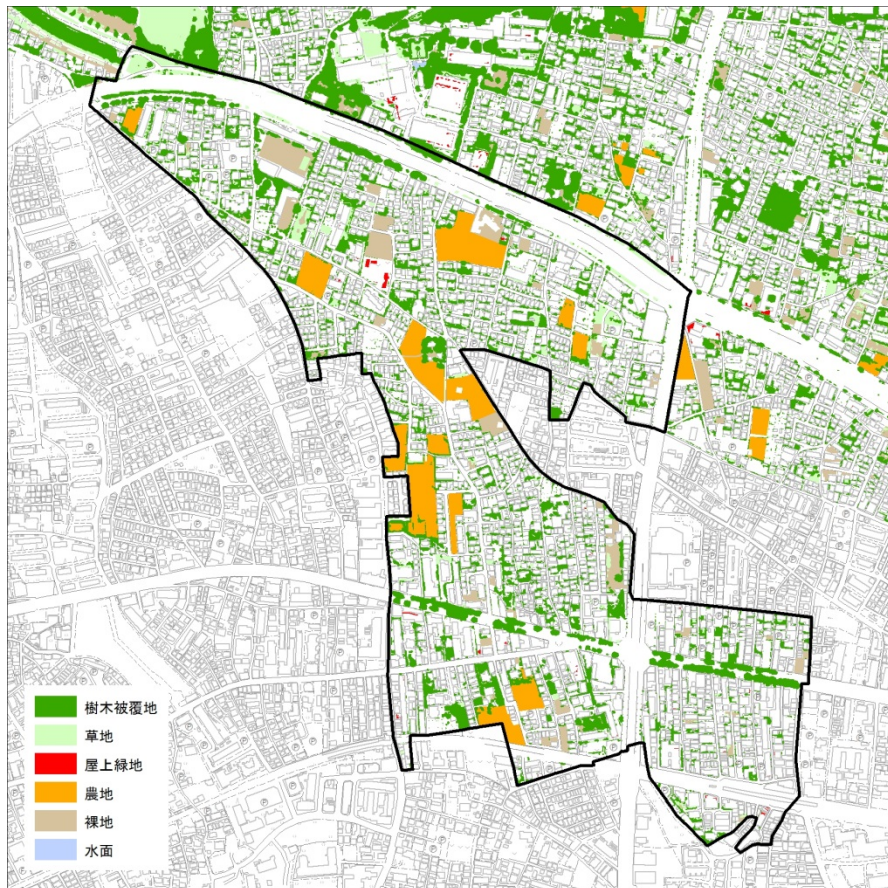


図 3-34 上高井戸一・二丁目地区の緑被分布図

## 6. 公・私別緑被地の状況

緑被地を公共用地にある緑被地（公的緑被地）と民有地にある緑被地（私的緑被地）に区分を行った。表 3-21 に示すものを公共用地とし、それ以外を民有地とした。

表 3-21 公共用地とする敷地

公共用地とする敷地
1. 道路
2. 鉄道
3. 河川
4. 公園・緑地
5. 区立小・中学校
6. 都立高等学校
7. 区立施設（区役所・図書館・区立子供園・区立保育園等）
8. 区立以外の官公施設（警察署・消防署・浄水所等）

地域・ゾーン別の公・私別の緑被状況を表 3-22 に示す。

区全体の公的緑被地面積は 225.96ha で緑被地全体の 30.47%、私的緑被地は 515.59ha で 69.53%であった。

地域別に見ると、公的緑被地の比率が高いのは阿佐谷地域の 39.64%、私的緑被地の比率が高いのは荻窪地域の 77.41%であった。

ゾーン別に見ると、公的緑被地の比率が高いのは成田ゾーンの 47.28%、方南・和泉ゾーンの 40.92%であった。成田ゾーンは規模の大きい都立和田堀公園や都立善福寺川緑地が位置しているためである。私的緑被地の比率が高いのは西荻南ゾーンの 87.66%、下井草ゾーンの 81.19%であった。

表 3-22 地域・ゾーン別公・私別の緑被状況

地域・ゾーン	公的緑被地 (ha)	私的緑被地 (ha)	緑被地合計 (ha)	公的比率 (%)	私的比率 (%)
上井草	15.80	25.19	41.00	38.55	61.45
下井草	5.83	25.15	30.98	18.81	81.19
井草	21.63	50.35	71.98	30.05	69.95
西荻北	21.07	52.27	73.34	28.73	71.27
西荻南	3.16	22.45	25.60	12.34	87.66
西荻	24.23	74.71	98.95	24.49	75.51
荻窪北	9.41	35.94	45.35	20.74	79.26
荻窪南	14.12	44.69	58.81	24.01	75.99
荻窪	23.53	80.63	104.16	22.59	77.41
阿佐谷	8.07	29.69	37.76	21.37	78.63
成田	42.69	47.60	90.28	47.28	52.72
阿佐谷	50.76	77.28	128.04	39.64	60.36
高円寺	8.19	20.71	28.90	28.34	71.66
和田・堀ノ内	11.33	27.31	38.64	29.33	70.67
高円寺	19.53	48.02	67.55	28.91	71.09
高井戸西	21.48	74.31	95.79	22.42	77.58
高井戸東	23.55	43.17	66.72	35.29	64.71
高井戸	45.02	117.49	162.51	27.70	72.30
永福	15.03	29.23	44.26	33.95	66.05
方南・和泉	26.23	37.88	64.10	40.92	59.08
方南・和泉	41.26	67.11	108.37	38.07	61.93
区全体	225.96	515.59	741.54	30.47	69.53

## 7. 緑被率の推移

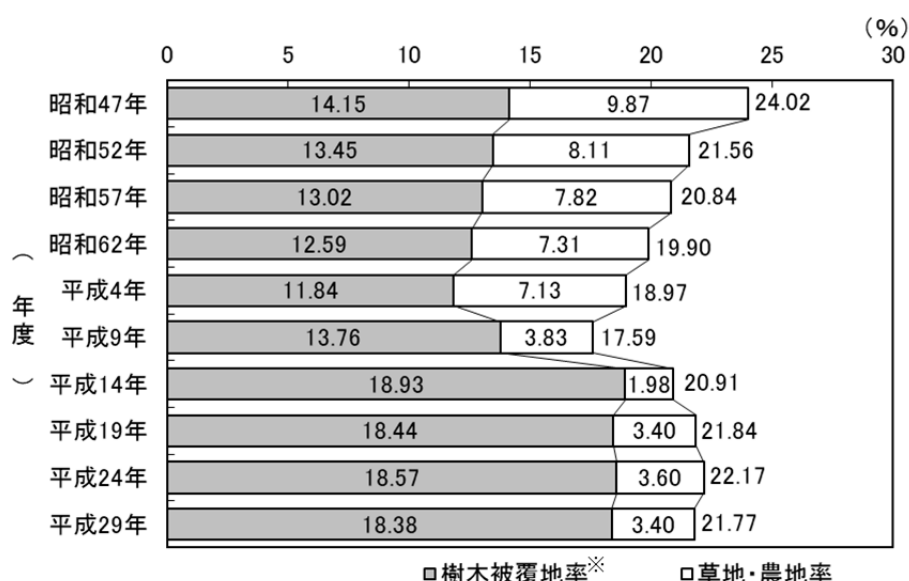
### 7-1 緑被率の推移

#### (1) 区全体の緑被率の推移

昭和47年度の第1回調査からの緑被率の推移を図3-35、表3-23に示す。

本区の緑被率は平成9年度までは減少し、平成14年度から平成24年度までは増加したが、平成29年度調査では再び減少した。

平成24年度調査と平成29年度調査の推移では、緑被地が12.71haの減少、緑被率は0.40ポイントの減少であった。樹木被覆地は6.56ha、0.21ポイントの減少、草地は3.90ha、0.12ポイントの減少、農地は2.82ha、0.08ポイントの減少で、屋上緑化は0.57ha、0.02ポイント増加であった。



※本図の樹木被覆地率には屋上緑化率が含まれている。

図3-35 緑被率の経年変化とその内訳

表3-23 緑被項目別の推移

項目	平成24年度		平成29年度		H29-H24	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	増減(ポイント)
樹木被覆地	624.77	18.36	618.21	18.15	▲ 6.56	▲ 0.21
草地	84.45	2.48	80.55	2.37	▲ 3.90	▲ 0.12
農地	37.93	1.11	35.12	1.03	▲ 2.82	▲ 0.08
屋上緑化	7.10	0.21	7.66	0.23	0.57	0.02
緑被地	754.26	22.17	741.54	21.77	▲ 12.71	▲ 0.40
裸地	106.03	3.12	83.83	2.46	▲ 22.20	▲ 0.66
水面	13.30	0.39	13.41	0.39	0.11	0.00
建物・道路等	2,528.42	74.32	2,567.22	75.37	38.80	1.05
区全体	3,402.00	100.00	3,406.00	100.00	—	—

※ 割合は小数第3位を四捨五入したため合計が合わない場合がある。



樹木被覆地は 6.56ha の減少であった。街路樹の樹種転換や剪定、宅地開発等に  
伴う樹木被覆地の消失が、区全域で確認された。

草地は 3.90ha の減少であった。住宅の建築や駐車場への土地利用の変化に伴  
う草地の減少が見受けられる一方で、公園の整備に伴い、大規模な草地の増加  
箇所や、一時的な未利用地の草地化による草地の増加が確認された。

農地は 2.82ha の減少であった。農地の減少の主な要因は、新規集合住宅の開  
発や事業所の建設によるものであった。

屋上緑化は 0.57ha、屋上緑化率 0.02 ポイントの増加であった。大宮前体育  
館や杉並清掃工場の屋上緑化の整備、事業所や住宅地での小規模な屋上緑化の  
整備が確認されている。

## (2) 地域・ゾーン別の緑被率の推移

地域・ゾーン別の緑被率等の推移を表 3-24、表 3-25 に示す。また、ゾーン  
別緑被率の推移を図 3-36、ゾーン別樹木被覆地率の推移を図 3-37 に示す。

地域別では、緑被率の増加が最も大きいのが方南・和泉地域で 1.49 ポイント  
の増加、緑被率の減少が最も大きいのが阿佐谷地域で 1.17 ポイントの減少であ  
った。

ゾーン別では、緑被率の増加が最も大きいのが方南・和泉ゾーンで 1.87 ポイ  
ント増加であった。樹木被覆地率においても 14 ゾーン中最も増加が大きく、  
1.51 ポイントの増加であった。増加の主な要因は、樹木の生長と済美山運動場  
整備によるものであった。次いで緑被率の増加が大きいのが、高円寺ゾーンで  
1.07 ポイントの増加であった。増加のほとんどが樹木被覆地であり、樹木被覆  
率は 1.34 ポイントの増加であった。

一方、緑被率の減少が最も大きいのは高井戸西ゾーンで 1.38 ポイントの減少  
であった。樹木被覆地率が 1.66 ポイント、農地率が 0.37 ポイント減少で、そ  
れぞれ 14 ゾーンの中で減少が最も大きかったが、草地率は 0.65 ポイントの増  
加で 14 ゾーン中最も多かった。高井戸西ゾーンでの主な減少箇所は、放射第 5  
号線整備が進められている玉川上水周辺の樹木被覆地であった。また、住宅建  
築により農地も減少した。草地の増加は、都立公園整備に伴い利用されなくな  
った運動場の草地化によるものであった。次いで緑被率の減少が大きいのは、  
成田ゾーンで 1.27 ポイントの減少であった。樹木被覆率、草地率、農地率にお  
いて減少がみられた。成田ゾーンの主な緑地の減少は、善福寺川緑地の工事に  
伴う樹木被覆地の減少、大規模な住宅開発による樹木被覆地と草地の減少であ  
った。



表 3-24 地域・ゾーン別緑被率等の推移(1)

地域・ゾーン	調査年 増減	樹木被覆地		草地		農地		屋上緑化		緑被 計	
		面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
上井草	平成24年	30.15	19.65	3.77	2.46	7.18	4.68	0.45	0.29	41.55	27.08
	平成29年	29.13	18.99	3.66	2.39	7.71	5.03	0.49	0.32	41.00	26.73
	増減	▲ 1.02	▲ 0.66	▲ 0.11	▲ 0.07	0.54	0.35	0.04	0.03	▲ 0.55	▲ 0.36
下井草	平成24年	24.53	16.14	2.78	1.83	4.71	3.10	0.15	0.10	32.17	21.16
	平成29年	23.80	15.66	2.55	1.68	4.50	2.96	0.14	0.09	30.98	20.38
	増減	▲ 0.73	▲ 0.48	▲ 0.23	▲ 0.15	▲ 0.21	▲ 0.14	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 1.18	▲ 0.78
井草	平成24年	54.67	17.90	6.55	2.14	11.89	3.89	0.60	0.20	73.71	24.14
	平成29年	52.93	17.33	6.21	2.03	12.21	4.00	0.63	0.21	71.98	23.57
	増減	▲ 1.75	▲ 0.57	▲ 0.34	▲ 0.11	0.33	0.11	0.03	0.01	▲ 1.73	▲ 0.57
西荻北	平成24年	63.66	20.01	8.94	2.81	2.86	0.90	0.87	0.27	76.33	24.00
	平成29年	61.96	19.48	7.85	2.47	2.73	0.86	0.80	0.25	73.34	23.06
	増減	▲ 1.70	▲ 0.53	▲ 1.09	▲ 0.34	▲ 0.13	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 2.99	▲ 0.94
西荻南	平成24年	22.91	16.54	1.64	1.18	1.95	1.41	0.22	0.16	26.71	19.29
	平成29年	21.65	15.63	1.74	1.26	2.03	1.47	0.18	0.13	25.60	18.49
	増減	▲ 1.26	▲ 0.91	0.11	0.08	0.08	0.06	▲ 0.03	▲ 0.02	▲ 1.11	▲ 0.80
西荻	平成24年	86.57	18.96	10.58	2.32	4.81	1.05	1.09	0.24	103.05	22.57
	平成29年	83.61	18.31	9.59	2.10	4.76	1.04	0.98	0.21	98.95	21.67
	増減	▲ 2.96	▲ 0.65	▲ 0.99	▲ 0.22	▲ 0.05	▲ 0.01	▲ 0.11	▲ 0.02	▲ 4.10	▲ 0.90
荻窪北	平成24年	42.45	16.77	3.13	1.24	1.83	0.72	0.39	0.15	47.80	18.89
	平成29年	40.81	16.12	2.52	1.00	1.69	0.67	0.33	0.13	45.35	17.92
	増減	▲ 1.65	▲ 0.65	▲ 0.60	▲ 0.24	▲ 0.14	▲ 0.06	▲ 0.06	▲ 0.02	▲ 2.46	▲ 0.97
荻窪南	平成24年	51.20	17.69	5.88	2.03	3.92	1.35	0.72	0.25	61.71	21.32
	平成29年	49.34	17.04	5.14	1.78	3.43	1.19	0.89	0.31	58.81	20.31
	増減	▲ 1.86	▲ 0.64	▲ 0.73	▲ 0.25	▲ 0.48	▲ 0.17	0.17	0.06	▲ 2.90	▲ 1.00
荻窪	平成24年	93.65	17.26	9.01	1.66	5.75	1.06	1.11	0.20	109.52	20.18
	平成29年	90.15	16.61	7.67	1.41	5.12	0.94	1.22	0.22	104.16	19.20
	増減	▲ 3.50	▲ 0.65	▲ 1.34	▲ 0.25	▲ 0.63	▲ 0.12	0.11	0.02	▲ 5.36	▲ 0.99
阿佐谷	平成24年	37.01	15.66	2.60	1.10	0.12	0.05	0.45	0.19	40.18	17.00
	平成29年	35.12	14.86	2.20	0.93	0.03	0.01	0.41	0.17	37.76	15.98
	増減	▲ 1.89	▲ 0.80	▲ 0.40	▲ 0.17	▲ 0.09	▲ 0.04	▲ 0.04	▲ 0.02	▲ 2.43	▲ 1.03
成田	平成24年	81.59	24.82	10.89	3.31	1.37	0.42	0.59	0.18	94.45	28.73
	平成29年	80.07	24.36	8.54	2.60	1.03	0.31	0.65	0.20	90.28	27.47
	増減	▲ 1.52	▲ 0.46	▲ 2.35	▲ 0.72	▲ 0.34	▲ 0.10	0.05	0.02	▲ 4.17	▲ 1.27
阿佐谷	平成24年	118.60	20.99	13.49	2.39	1.49	0.26	1.04	0.18	134.63	23.83
	平成29年	115.19	20.39	10.74	1.90	1.06	0.19	1.05	0.19	128.04	22.66
	増減	▲ 3.42	▲ 0.60	▲ 2.75	▲ 0.49	▲ 0.43	▲ 0.08	0.01	0.00	▲ 6.59	▲ 1.17
高円寺	平成24年	23.88	11.21	2.23	1.05	0.03	0.01	0.49	0.23	26.62	12.49
	平成29年	26.73	12.54	1.62	0.76	0.02	0.01	0.53	0.25	28.90	13.56
	増減	2.85	1.34	▲ 0.60	▲ 0.28	▲ 0.01	▲ 0.00	0.04	0.02	2.28	1.07
和田・堀ノ内	平成24年	33.00	17.37	3.74	1.97	0.32	0.17	0.42	0.22	37.50	19.73
	平成29年	35.42	18.64	2.38	1.25	0.32	0.17	0.53	0.28	38.64	20.34
	増減	2.42	1.27	▲ 1.36	▲ 0.72	▲ 0.01	▲ 0.00	0.10	0.05	1.15	0.60
高円寺	平成24年	56.88	14.11	5.97	1.48	0.35	0.09	0.91	0.23	64.11	15.91
	平成29年	62.15	15.42	4.01	0.99	0.34	0.08	1.05	0.26	67.55	16.76
	増減	5.27	1.31	▲ 1.97	▲ 0.49	▲ 0.01	▲ 0.00	0.14	0.04	3.43	0.85

表 3-25 地域・ゾーン別緑被率等の推移(2)

地域・ゾーン	調査年 増減	樹木被覆地		草地		農地		屋上緑化		緑被計	
		面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
高井戸西	平成24年	74.47	20.05	15.34	4.13	10.55	2.84	0.54	0.15	100.90	27.17
	平成29年	68.32	18.40	17.75	4.78	9.18	2.47	0.54	0.15	95.79	25.79
	増減	▲ 6.15	▲ 1.66	2.41	0.65	▲ 1.37	▲ 0.37	▲ 0.00	▲ 0.00	▲ 5.11	▲ 1.38
高井戸東	平成24年	55.23	20.86	8.58	3.24	2.75	1.04	0.75	0.28	67.31	25.43
	平成29年	54.79	20.70	8.70	3.29	2.17	0.82	1.06	0.40	66.72	25.21
	増減	▲ 0.44	▲ 0.17	0.13	0.05	▲ 0.58	▲ 0.22	0.30	0.11	▲ 0.59	▲ 0.22
高井戸	平成24年	129.70	20.39	23.92	3.76	13.30	2.09	1.29	0.20	168.21	26.44
	平成29年	123.11	19.35	26.46	4.16	11.35	1.78	1.59	0.25	162.51	25.55
	増減	▲ 6.59	▲ 1.04	2.54	0.40	▲ 1.95	▲ 0.31	0.30	0.05	▲ 5.70	▲ 0.90
永福	平成24年	36.25	18.57	5.53	2.83	0.29	0.15	0.42	0.22	42.49	21.77
	平成29年	38.14	19.54	5.48	2.81	0.22	0.11	0.42	0.21	44.26	22.68
	増減	1.89	0.97	▲ 0.05	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.04	▲ 0.00	▲ 0.00	1.77	0.91
方南・和泉	平成24年	48.44	16.26	9.40	3.15	0.05	0.02	0.63	0.21	58.53	19.64
	平成29年	52.94	17.76	10.40	3.49	0.04	0.01	0.72	0.24	64.10	21.51
	増減	4.49	1.51	1.00	0.34	▲ 0.01	▲ 0.00	0.09	0.03	5.58	1.87
方南・和泉	平成24年	84.69	17.17	14.93	3.03	0.34	0.07	1.05	0.21	101.02	20.48
	平成29年	91.08	18.47	15.88	3.22	0.27	0.05	1.14	0.23	108.37	21.97
	増減	6.39	1.29	0.95	0.19	▲ 0.08	▲ 0.02	0.08	0.02	7.34	1.49
区全体	平成24年	624.77	18.36	84.45	2.48	37.93	1.11	7.10	0.21	754.26	22.17
	平成29年	618.21	18.15	80.55	2.37	35.12	1.03	7.66	0.23	741.54	21.77
	増減	▲ 6.56	▲ 0.21	▲ 3.90	▲ 0.12	▲ 2.82	▲ 0.08	0.57	0.02	▲ 12.71	▲ 0.40

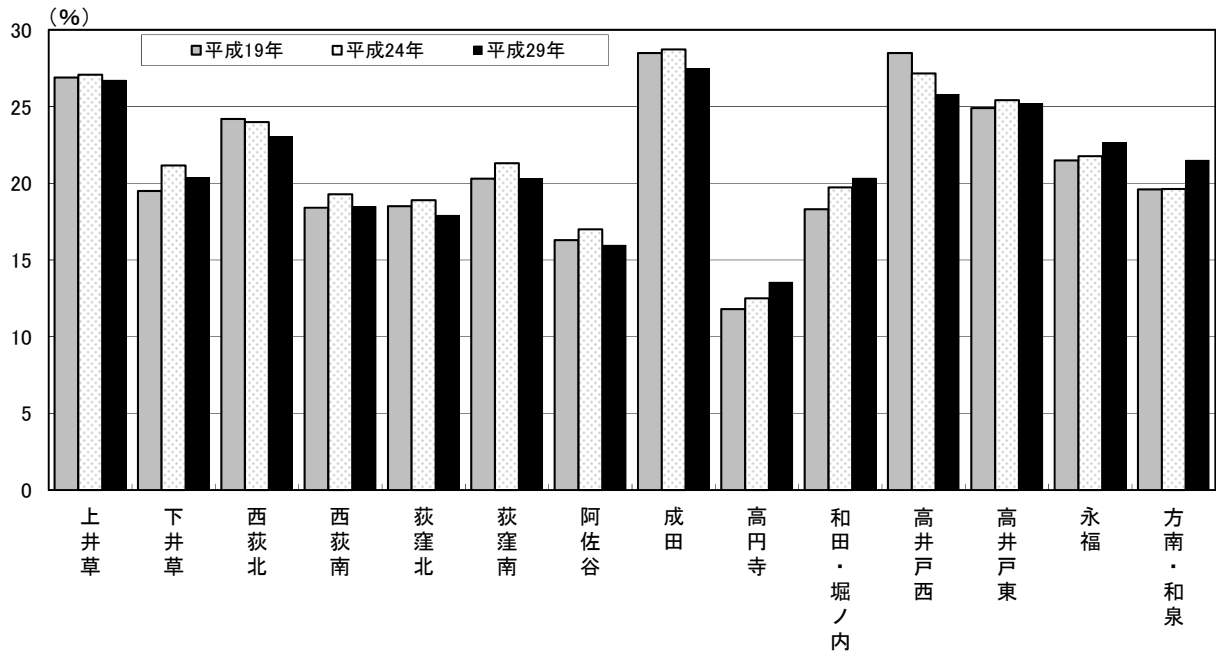


図 3-36 ゾーン別緑被率の推移

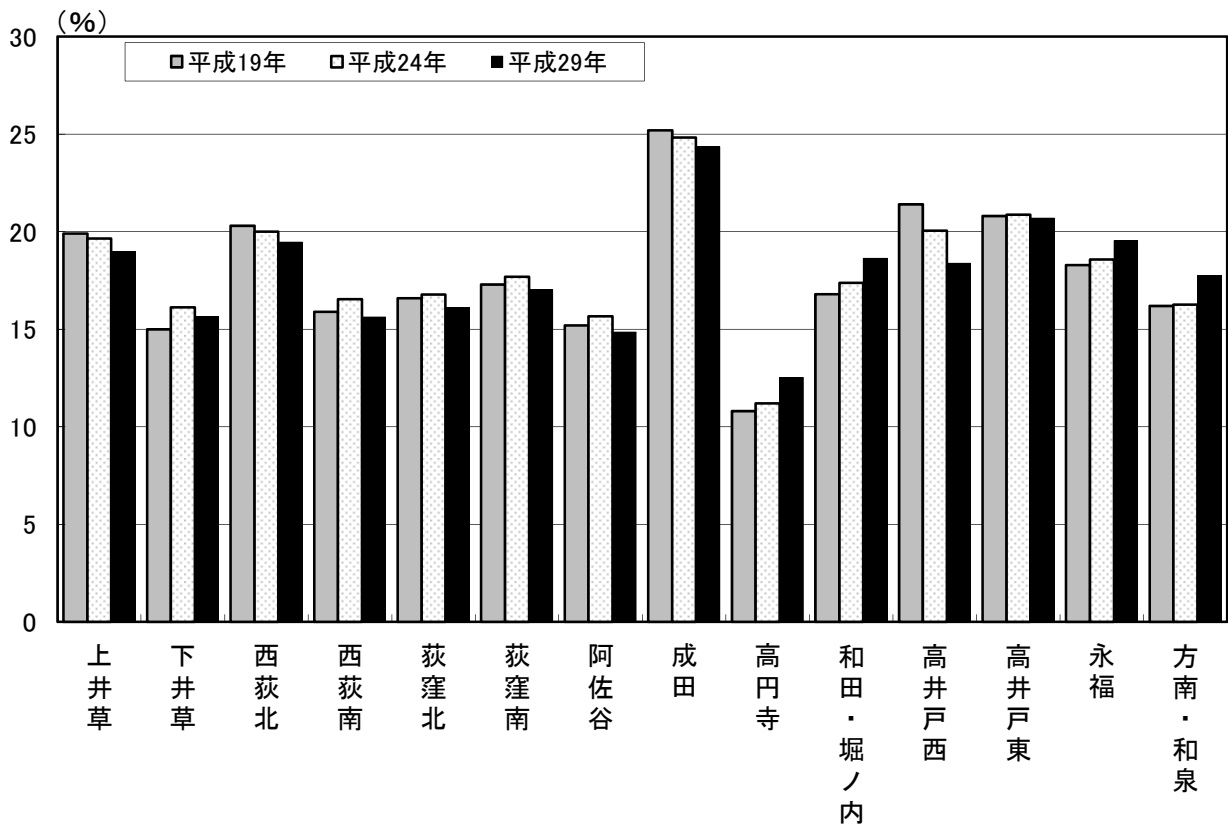


図 3-37 ゾーン別樹木被覆地率の推移

【平成 24 年度調査と平成 29 年度調査の変化例】

緑被の減少例

玉川上水周辺：道路整備による樹木被覆地の減少



平成 24 年度



平成 29 年度

草地の増加例

済美山運動場：公園整備工事完了による草地の増加



平成 24 年度



平成 29 年度



## 草地の減少例

和田二丁目：建設工事による草地の減少



平成 24 年度



平成 29 年度

## 農地の減少例

下井草三丁目：住宅建築による農地の減少



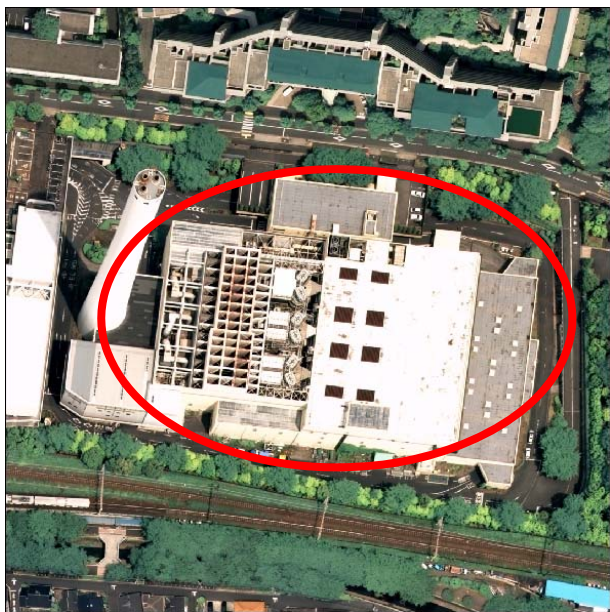
平成 24 年度



平成 29 年度

## 屋上緑化の増加例

杉並清掃工場：屋上緑化整備による増加



平成 24 年度



平成 29 年度



## 7-2 地域地区等の緑被率の推移

### (1) 用途地域別の緑被地の推移

用途地域別の緑被地の推移を表3-26に示す。

多くの用途地域において、緑被面積、緑被率ともに減少であった。区全体の約85%を占める住居系用途地域では、緑被面積11.27ha、緑被率0.39ポイントの減少であった。最も緑地面積の減少が大きいのは第一種低層住居専用地域の16.48ha、緑被率の減少が最も大きいのは第二種低層住居専用地域の1.47ポイントであった。また、緑被面積の増加が大きいのは、第一種中高層住居専用地域の7.22ha、緑被率は1.74ポイントの増加であった。

商業系の用途地域では緑被面積1.69ha、緑被率0.39ポイントの減少、工業系の用途地域では緑被面積0.25ha、緑被率0.47ポイントの増加であった。

表3-26 用途地域別緑被地の推移

用途地域		樹木被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
第一種低層住居専用地域	平成24年	460.15	65.10	34.28	3.09	562.63	25.78
	平成29年	448.88	62.32	31.69	3.26	546.14	25.03
	増減	▲ 11.27	▲ 2.79	▲ 2.59	0.17	▲ 16.48	▲ 0.76
第二種低層住居専用地域	平成24年	1.94	0.14	0.18	0.00	2.26	15.15
	平成29年	1.75	0.10	0.18	0.00	2.04	13.68
	増減	▲ 0.18	▲ 0.03	▲ 0.00	▲ 0.00	▲ 0.22	▲ 1.47
第一種中高層住居専用地域	平成24年	72.60	8.53	1.61	1.53	84.26	20.31
	平成29年	79.17	8.89	1.77	1.64	91.47	22.05
	増減	6.58	0.36	0.16	0.12	7.22	1.74
第二種中高層住居専用地域	平成24年	11.64	2.23	0.50	0.22	14.59	15.21
	平成29年	12.00	1.22	0.43	0.28	13.94	14.53
	増減	0.36	▲ 1.01	▲ 0.07	0.07	▲ 0.65	▲ 0.68
第一種住居地域	平成24年	13.89	0.70	0.46	0.11	15.17	19.42
	平成29年	14.07	0.72	0.39	0.11	15.30	19.59
	増減	0.18	0.02	▲ 0.07	0.00	0.13	0.17
第二種住居地域	平成24年	9.37	1.51	0.34	0.16	11.38	18.47
	平成29年	8.88	1.24	0.23	0.47	10.82	17.57
	増減	▲ 0.49	▲ 0.27	▲ 0.11	0.30	▲ 0.56	▲ 0.91
準住居地域	平成24年	8.59	0.58	0.33	0.17	9.66	13.63
	平成29年	8.04	0.50	0.27	0.15	8.97	12.64
	増減	▲ 0.54	▲ 0.08	▲ 0.06	▲ 0.02	▲ 0.70	▲ 0.99
住居系	平成24年	578.18	78.78	37.69	5.28	699.94	23.98
	平成29年	572.81	74.99	34.96	5.91	688.68	23.60
	増減	▲ 5.37	▲ 3.79	▲ 2.73	0.63	▲ 11.27	▲ 0.39
近隣商業地域	平成24年	27.85	2.16	0.05	0.67	30.73	10.34
	平成29年	27.34	2.24	0.04	0.65	30.26	10.18
	増減	▲ 0.51	0.08	▲ 0.01	▲ 0.03	▲ 0.47	▲ 0.16
商業地域	平成24年	12.19	0.73	0.00	0.59	13.50	10.13
	平成29年	10.83	0.89	0.00	0.56	12.28	9.21
	増減	▲ 1.36	0.16	0.00	▲ 0.03	▲ 1.22	▲ 0.92
商業系	平成24年	40.03	2.88	0.05	1.26	44.23	10.27
	平成29年	38.16	3.13	0.04	1.21	42.54	9.88
	増減	▲ 1.87	0.24	▲ 0.01	▲ 0.06	▲ 1.69	▲ 0.39
準工業地域	平成24年	6.56	2.79	0.18	0.55	10.08	19.06
	平成29年	7.24	2.44	0.11	0.54	10.33	19.52
	増減	0.68	▲ 0.35	▲ 0.07	▲ 0.01	0.25	0.47
区全体	平成24年	624.77	84.45	37.93	7.10	754.26	22.17
	平成29年	618.21	80.55	35.11	7.66	741.54	21.77
	増減	▲ 6.56	▲ 3.90	▲ 2.82	0.57	▲ 12.71	▲ 0.40

## (2) 特別緑地保全地区・風致地区の緑被地の推移

特別緑地保全地区の緑被地の推移を表 3-27、風致地区の緑被地の推移を表 3-28 に示す。

和田堀特別緑地保全地区では樹木被覆地が 0.08ha 増加した。これは樹木の生長及び大宮の杜緑地の整備に伴う増加と考えられる。

善福寺風致地区では、樹木被覆地が 0.60ha 減少、草地在 0.22ha 減少、緑被地全体では 0.82ha の減少であった。樹木被覆地の減少は、井草八幡宮や都立善福寺公園内の樹木剪定や、住宅開発によるものであった。

和田堀風致地区は樹木被覆地が 1.84ha 増加、草地在 1.80ha 増加、農地在 0.10ha 減少、屋上緑化が 0.02ha 増加し、緑被地全体では 3.57ha の増加であった。緑被地の主な増加は都立和田堀公園内にある済美山運動場の公園整備に伴うものであった。前回調査では整備中であったが、工事が完了したことで樹木被覆地と草地在大きく増加した。一方で、善福寺川周辺では護岸工事に伴う樹木被覆地の減少も確認できた。

表 3-27 特別緑地保全地区の緑被地の推移

名称	調査年 増減					緑被地 (ha)	緑被率 (%)
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化		
和田堀特別緑地 保全地区	平成24年	1.70	0.00	0.00	0.00	1.70	58.56
	平成29年	1.78	0.00	0.00	0.00	1.78	61.49
	増減	0.08	0.00	0.00	0.00	0.08	2.93

表 3-28 風致地区の緑被地の推移

名称	調査年 増減					緑被地 (ha)	緑被率 (%)
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化		
善福寺風致地区	平成24年	13.67	1.00	0.10	0.00	14.76	50.55
	平成29年	13.07	0.78	0.09	0.00	13.94	47.74
	増減	▲ 0.60	▲ 0.22	▲ 0.01	0.00	▲ 0.82	▲ 2.81
和田堀風致地区	平成24年	43.61	7.51	0.41	0.11	51.63	34.13
	平成29年	45.45	9.31	0.31	0.13	55.20	36.48
	増減	1.84	1.80	▲ 0.10	0.02	3.57	2.36

### (3) 地区計画区域の緑被地の推移

地区計画区域の緑被地の推移を表 3-29 に示す。

蚕糸試験場跡地周辺地区は樹木被覆地が 0.40ha 増加し、緑被地全体では 0.38ha の増加であった。樹木被覆地は小面積での増加、減少が確認できたが大きな変化はなく、街路樹等の生長により全体としては増加となった。

気象研究所跡地周辺地区では樹木被覆地が 0.21ha 増加、草地在 0.15ha 減少し、緑被地全体では 0.07ha の増加であった。樹木被覆地の小面積での増加、減少はあったが、大きな変化はなく、公園内の樹木等の生長により全体としては増加となった。

宮前二丁目地区は樹木被覆地が 0.32ha 増加、草地在 0.12ha 減少し、緑被地全体では 0.19ha の増加であった。樹木被覆地は小面積での増加、減少が確認できたが大きな変化はなく、大規模集合住宅の敷地内の樹木の生長により全体としては増加となった。

大田黒公園周辺地区は樹木被覆地が 0.23ha、草地在 0.31ha 減少し、緑被地全体では 0.53ha の減少であった。住宅建設に伴い樹木被覆地や草地在減少した。

高井戸東一丁目地区は樹木被覆地が 0.43ha 増加、草地在屋上緑化が微減し、緑被地全体では 0.33ha の増加であった。樹木被覆地の小面積での増加、減少はあったが、大きな変化はなく、街路樹の生長や住宅の建設に伴う植樹により全体としては増加となった。

荻窪三丁目地区は樹木被覆地が 0.28ha、草地在 0.11ha、屋上緑化が 0.03ha 増加し、緑被地全体では 0.42ha の増加であった。増加の主な要因は荻窪三丁目の開発に伴う周辺緑地の整備による樹木被覆地、草地在増加であった。

成田東四丁目地区は樹木被覆地が 1.00ha、草地在 0.70ha 減少し、緑被地全体では 1.70ha の減少であった。変化の主な要因は集合住宅の建て替えに伴う樹木被覆地、草地在減少であった。

宮前三丁目地区は樹木被覆地が 0.01ha、草地在 0.02ha 減少し、緑被地全体では 0.03ha の減少であった。集合住宅の建て替えにより緑被地が微減した。

杉並区環七沿道地区計画では樹木被覆地が 1.18ha 増加した。増加の主な要因は街路樹等の生長であった。

杉並区環状八号線沿道地区では樹木被覆地が 0.21ha 増加し、草地在 0.08ha、農地在 0.11ha 減少した。樹木被覆地の増加の主な要因は、街路樹等の生長によるものであった。

表 3-29 地区計画区域の緑被地の推移

名称	調査年 増減					緑被地 (ha)	緑被率 (%)
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化		
蚕糸試験場跡地周辺 地区地区計画	平成24年	5.14	0.23	0.01	0.07	5.44	20.84
	平成29年	5.54	0.20	0.01	0.07	5.82	22.30
	増減	0.40	▲ 0.03	0.00	0.00	0.38	1.46
気象研究所跡地周辺 地区地区計画	平成24年	3.74	0.31	0.00	0.02	4.07	22.63
	平成29年	3.95	0.16	0.00	0.03	4.14	23.00
	増減	0.21	▲ 0.15	0.00	0.01	0.07	0.39
宮前二丁目地区地区 計画	平成24年	4.45	0.38	1.01	0.17	6.02	25.07
	平成29年	4.77	0.26	1.00	0.18	6.21	25.88
	増減	0.32	▲ 0.12	▲ 0.01	0.01	0.19	0.79
大田黒公園周辺地域 地区計画	平成24年	9.89	1.19	0.03	0.06	11.17	26.15
	平成29年	9.66	0.88	0.03	0.07	10.64	24.92
	増減	▲ 0.23	▲ 0.31	0.00	0.01	▲ 0.53	▲ 1.24
高井戸東一丁目地区	平成24年	3.87	0.36	0.00	0.44	4.66	53.61
	平成29年	4.30	0.29	0.00	0.40	4.99	57.36
	増減	0.43	▲ 0.07	0.00	▲ 0.04	0.33	3.79
荻窪三丁目地区	平成24年	0.86	0.60	0.00	0.27	1.73	25.75
	平成29年	1.14	0.71	0.00	0.30	2.15	32.09
	増減	0.28	0.11	0.00	0.03	0.42	6.27
成田東四丁目地区	平成24年	2.51	0.80	0.00	0.00	3.31	58.13
	平成29年	1.51	0.10	0.00	0.00	1.61	28.25
	増減	▲ 1.00	▲ 0.70	0.00	0.00	▲ 1.70	▲ 29.82
宮前三丁目地区	平成24年	0.28	0.04	0.00	0.00	0.32	40.32
	平成29年	0.27	0.02	0.00	0.00	0.29	36.25
	増減	▲ 0.01	▲ 0.02	0.00	0.00	▲ 0.03	▲ 3.75
玉川上水・放射5号線周 辺地区地区計画	平成24年	-	-	-	-	-	-
	平成29年	6.89	1.25	0.88	0.02	9.04	26.43
	増減	-	-	-	-	-	-
環七沿道地区計画	平成24年	6.97	1.70	0.00	0.13	8.81	15.84
	平成29年	8.15	0.75	0.00	0.24	9.14	16.44
	増減	1.18	▲ 0.95	▲ 0.00	0.11	0.33	0.60
環状八号線沿道地区 計画	平成24年	7.67	0.53	0.36	0.15	8.72	17.36
	平成29年	7.88	0.45	0.25	0.14	8.72	17.37
	増減	0.21	▲ 0.08	▲ 0.11	▲ 0.01	0.00	0.01

#### (4) みどりのベルトづくり推進地区の緑被地の推移

みどりのベルトづくり推進地区の緑被地の推移を表 3-30 に示す。

高円寺推進地区の緑被地は平成 24 年度調査と比べ、緑被地全体では 0.94ha、緑被率では 1.49 ポイントの増加であった。樹木被覆地は 1.11ha 増加しており、草地、農地、屋上緑化は微減であった。樹木被覆地の増加箇所は、公園や街路樹等の樹木生長によるものであった。

表 3-30 みどりのベルトづくり推進地区の緑被地の推移

名称	調査年 増減	上段：面積 (ha)				緑被地 (ha)	緑被率 (%)
		樹木 被覆地	草地	農地	屋上緑化		
高円寺推進地区	平成24年	6.17	0.42	0.02	0.23	6.83	10.86
	平成29年	7.28	0.26	0.01	0.22	7.77	12.35
	増減	1.11	▲ 0.16	▲ 0.01	▲ 0.01	0.94	1.49
堀ノ内推進地区	平成24年	24.96	1.97	0.29	0.17	27.40	19.26
	平成29年	26.61	1.42	0.31	0.18	28.52	20.05
	増減	1.65	▲ 0.55	0.02	0.01	1.12	0.79



## (5) 公・私別の緑被地の推移

公・私別の緑被地の推移を表 3-31 に示す。

平成 24 年度調査では公的比率と私的比率の割合が 31.05%と 68.95%であったが、平成 29 年度調査では公的緑被地の割合が下がり、30.47%と 69.53%となった。緑被地面積では公的緑被地が 8.26ha 減少し、私的緑被地が 4.44ha 減少した。

地域別の公・私別の緑被地の推移では、公的緑被地が最も減少したのは高井戸地域であった。

ゾーン別では、公的緑被地面積の減少が大きいのは高井戸西ゾーンで、遊び場が廃止になったことが減少の大きな要因である。全体的に、公的緑被地・私的緑被地ともに減少しているゾーンが多く、区全体として緑被地が減少している。

表 3-31 公・私別の緑被地の推移

地域・ゾーン	平成24年				平成29年				推移	
	公的 緑被地 (ha)	私的 緑被地 (ha)	公的比率 (%)	私的比率 (%)	公的 緑被地 (ha)	私的 緑被地 (ha)	公的比率 (%)	私的比率 (%)	公的 緑被地 (ha)	私的 緑被地 (ha)
上井草	16.34	25.20	39.34	60.66	15.80	25.19	38.55	61.45	▲ 0.54	▲ 0.01
下井草	6.59	25.58	20.48	79.52	5.83	25.15	18.81	81.19	▲ 0.76	▲ 0.43
井草	22.93	50.78	31.11	68.89	21.63	50.35	30.05	69.95	▲ 1.30	▲ 0.43
西荻北	22.37	53.96	29.31	70.69	21.07	52.27	28.73	71.27	▲ 1.30	▲ 1.69
西荻南	3.56	23.16	13.32	86.68	3.16	22.45	12.34	87.66	▲ 0.40	▲ 0.71
西荻	25.93	77.12	25.16	74.84	24.23	74.71	24.49	75.51	▲ 1.70	▲ 2.41
荻窪北	10.19	37.62	21.31	78.69	9.41	35.94	20.74	79.26	▲ 0.78	▲ 1.68
荻窪南	13.61	48.11	22.05	77.95	14.12	44.69	24.01	75.99	0.51	▲ 3.42
荻窪	23.79	85.72	21.73	78.27	23.53	80.63	22.59	77.41	▲ 0.26	▲ 5.09
阿佐谷	9.62	30.56	23.95	76.05	8.07	29.69	21.37	78.63	▲ 1.55	▲ 0.87
成田	42.44	52.01	44.93	55.07	42.69	47.60	47.28	52.72	0.25	▲ 4.41
阿佐谷	52.06	82.57	38.67	61.33	50.76	77.28	39.64	60.36	▲ 1.30	▲ 5.29
高円寺	8.11	18.51	30.46	69.54	8.19	20.71	28.34	71.66	0.08	2.20
和田・堀ノ内	11.96	25.53	31.91	68.09	11.33	27.31	29.33	70.67	▲ 0.63	1.78
高円寺	20.07	44.04	31.31	68.69	19.53	48.02	28.91	71.09	▲ 0.54	3.98
高井戸西	28.49	72.42	28.23	71.77	21.48	74.31	22.42	77.58	▲ 7.01	1.89
高井戸東	25.48	41.82	37.86	62.14	23.55	43.17	35.29	64.71	▲ 1.93	1.35
高井戸	53.97	114.24	32.08	67.92	45.02	117.49	27.70	72.30	▲ 8.95	3.25
永福	13.60	28.90	32.00	68.00	15.03	29.23	33.95	66.05	1.43	0.33
方南・和泉	21.87	36.66	37.37	62.63	26.23	37.88	40.92	59.08	4.36	1.22
方南・和泉	35.47	65.56	35.11	64.89	41.26	67.11	38.07	61.93	5.79	1.55
区全体	234.22	520.03	31.05	68.95	225.96	515.59	30.47	69.53	▲ 8.26	▲ 4.44